

# 巻 頭 言

所長 阿部 俊和

令和3年度の金ヶ崎診療所、歯科診療所の年報発刊に当たりご挨拶申し上げます。

令和3年度も全世界で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、その対応に追われ続けた一年でありました。ウイルスは次々に変異を繰り返し、そのたびに感染性が増し当金ヶ崎地区においても徐々に発症者が増加し、年度末には町内の施設でクラスターが発生致しました。

私どもの診療所においては、午後の時間帯をワクチン接種に充てて対応致しましたが、午後だけでは国の指針に沿うような数をこなすことができず、役場との協議を重ね、土曜日も終日診療所と保健センターの二か所でワクチン接種を行いました。更に一時的に金曜日の一般外来を止め丸一日ワクチン接種に充てて対応致しました。この結果、高齢者、基礎疾患のある方への接種は県内でもかなり早い時期に2回接種を完了することができました。

この一年間に診療所で行ったワクチン接種回数は1万4千回弱、月平均も千件を超えており、6月には1か月で4,000回をこなしました。

同時進行で発熱外来も継続しており、プレハブ小屋とへパフィルターを設置した感染室を利用してPCRの検査ならびに診察を行いました。当診療所でのPCR検査は外注であるため結果が翌日に出る事もあり、総数は168件にとどまりましたが、医師1名と看護師2名が防護服を着用して患者の対応に当たらなければならず仕事量は増大しました。

日常の診療においては、若干患者数は減少したものの、消化器内視鏡検査を含めた内科的な診療、膀胱鏡検査を含めた泌尿器科的診療、そして外科医による外傷への対応、歯科診療など常勤医による診療は従前どおり継続、更に非常勤医師による眼科、婦人科、神経内科、整形外科、循環器内科の診療も続けて行いました。

病床のない当町における在宅医療は重要であり、従来通り訪問診療、訪問歯科診療、訪問看護は継続致しました。9名ではありますが、在宅での看取りもさせていただきました。

コロナ禍はまだ見通せない状況ではありますが、行政と一体となり時局に応じて臨機応変に対応し、町民が健康で生活できるようにお手伝いを続けますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 金ヶ崎診療所の理念と基本方針

## 【理 念】

町民が明るく健康でいられるようにお手伝いします。

## 【基本方針】

1. 患者様の訴えを真摯に伺い診療に当たります。
2. 迅速で的確な医療を提供します。
3. 患者中心の全人的医療を目指します。
4. 訪問診療の充実を図ります。
5. 近隣の医療機関と連携を密にすることにより紹介、入院を容易にします。
6. 出前講座や広報等を通じて地域の予防医学に貢献します。

# 金ヶ崎保健医療センター事業目的

## 1. 金ヶ崎診療所

- 1) 金ヶ崎町は人口約 15,000 人で北上市、奥州市に囲まれており、周辺には県立中部病院、県立胆沢病院、県立江刺病院、済生会北上病院、総合水沢病院等の総合病院が林立しております。金ヶ崎診療所は無床診療所であり、一般外来診療と訪問診療、講演等の疾病啓発活動を中心に事業を行っています。当診療所の役割は地域医療であり、患者様を総合的に診察し、高度な医療が必要な患者や、入院が必要な患者を上述の病院にスムーズに紹介し入院できる環境を作る事にあります。
- 2) 診療所の機能  
一般総合内科外来診療  
消化器科・外科・肛門科・神経内科・泌尿器科・婦人科・眼科・整形外科・循環器内科の  
専門外来  
禁煙外来  
訪問診療
- 3) 新型コロナワクチン接種（個別接種、集団接種）
- 4) 発熱外来（新型コロナ対応、PCR検体採取）

## 2. 金ヶ崎歯科診療所

- 1) 一般歯科
- 2) 小児歯科
- 3) 歯科検診

## 3. 訪問看護ステーション

- 1) 訪問看護（24 時間対応）
- 2) 訪問注射
- 3) 訪問診療と合同で緩和医療、看取り

## 4. 保健福祉センター

- 1) 福祉係  
高齢者福祉、障がい者福祉
- 2) 医療係  
保健医療の企画、調整、地域医療連携
- 3) 元気 100 歳健康支援係  
町長の施策方針に基づくプロジェクトの推進  
健康づくり、健康増進、がん・骨粗鬆症・特定健診、予防接種、栄養指導など
- 4) 介護保険係  
介護保険事業、給付、介護予防マネジメント、地域包括ケア

# 1. 金ヶ崎診療所施設の概況

## (1) 診療所施設等の状況

①標榜診療科 内科、外科、肛門科、泌尿器科、歯科

曜日指定診療科 婦人科、神経内科、眼科、整形外科、循環器内科

②一般外来診療

③主な医療機器の整備状況

### 【放射線部門】

全身用コンピューター撮影装置 (MDC T16 列)、一般撮影装置、診断用 X 線テレビ装置、骨密度測定装置 (DEXA)

### 【検査部門】

全自動血液分析装置、自動血球計数装置、ABI (CABI)、心電計、ホルター 心電計

### 【その他】

経鼻上部消化管電子内視鏡、経口上部消化管電子内視鏡、  
気管支ファイバー内視鏡、超音波診断装置 (心エコー、頸動脈エコー可)  
泌尿器科膀胱電子内視鏡セット、尿流測定装置、簡易残尿測定装置

## (2) 診療圏人口等の状況

1) 診療圏人口 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

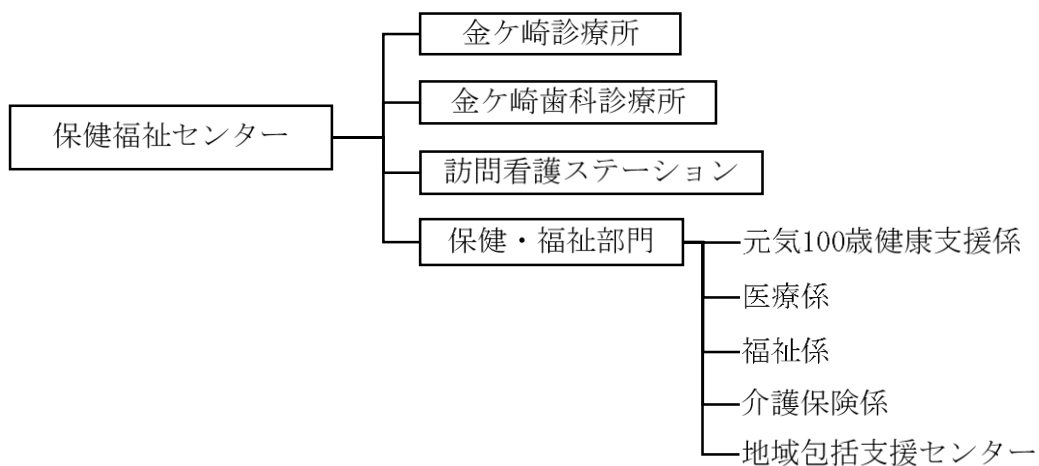
127,806 人

金ヶ崎町 15,268 人、奥州市 112,538 人

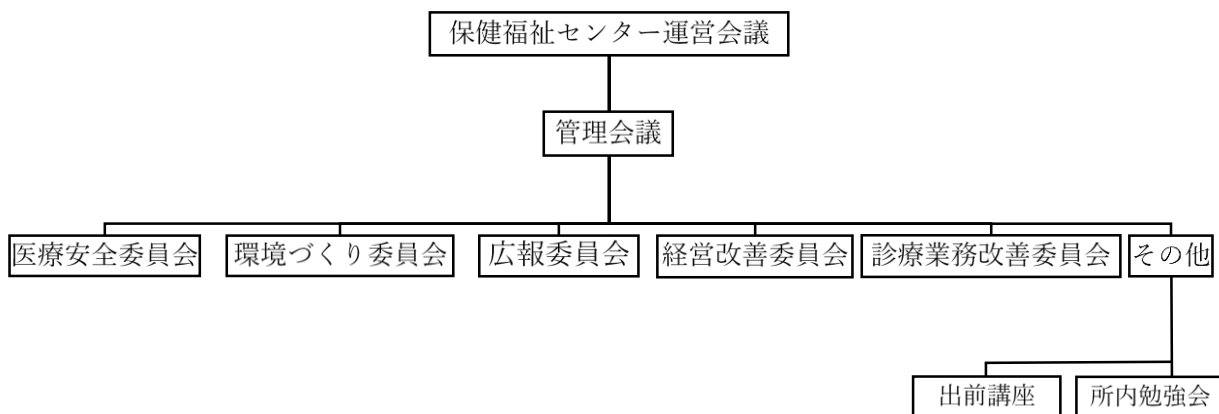
2) 病院及び診療所の状況 (地域医療情報システムより 令和 3 年 11 月現在)

金ヶ崎町	一般診療所	6	病床数	0 床
	歯科診療所	6		
奥州市	病院数	9	病床数	1,599 床
	一般診療所	71	病床数	127 床
	歯科診療所	51		

### (3) 診療所組織図



### (4) 委員会組織図



## (5) 診療体制及び職員の状況

1) 医師数の状況 (令和4年3月31日現在)

(単位:人)

診療科	常勤	診療応援	診療応援の内訳
内科	2		
外科	1		
泌尿器科	(1)		
肛門外科	(1)		
眼科		1	毎週1回、月曜日午後
婦人科		1	2週に1回、木曜日午前
神経内科		1	毎週1回、火曜日午後
整形外科		1	毎週1回、火曜日午後
循環器内科		1	毎週1回、木曜日午前
歯科	1		
計	4	5	

( ) は兼任

2) 職員数の状況 (令和4年3月31日現在)

(単位:人)

診療科	常勤	会計年度任用職員	計	備考
医師	3		3	
歯科医師	1		1	
看護師	6	1	7	
薬剤職員	1		1	
医療技術員	2	3	5	
歯科衛生士	1		1	
事務職員	3	2	5	
計	17	6	23	

## 2. 部門別活動状況

### 内 科

内科長 加藤 喜信

令和3年度も内科外来として医師の体制が変わることなく、診療を継続することができました。消化器内科としては上部消化管内視鏡検査 426 例、ほぼ例年並みの件数を施行しました。4 人に計 6 個の胃癌を見つけ、うち 3 人 5 個は早期胃癌でした。早期胃癌の 3 人は胆沢病院消化器内科に紹介し、内視鏡的に治療を受けることができました。慢性胃炎やピロリ菌感染後の胃は胃癌の好発リスクとなっており、今後も定期的に上部消化管内視鏡検査でフォローし、胃癌を早期のうちに発見できるように心がけていきたいと考えております。

下部消化管内視鏡検査は 92 例施行しました。例年よりも 20 件ほど少なくなっておりますが、新型コロナウイルス流行により、特定型検診の受診数が減少していることと関係あるように思われました。今年度の下部消化管内視鏡検査では大腸癌を認めませんでした。大腸癌検診が少なかったこともあり、大腸癌の見逃しが心配されます。我々ができることとして、前癌病変であるポリープのフォローアップや、血便など症状のある患者につきましては下部消化管内視鏡検査を積極的に施行するなど、少しでも大腸癌を拾い上げていけるように頑張りたいと思います。

昨年度に引き続き新型コロナ感染が蔓延しており、特に大腸内視鏡検査の時間帯である午後に発熱外来や新型コロナワクチン接種を行っているため、大腸内視鏡検査は時間的・人的に制限されておりますが、必要な検査は施行できるよう工夫していこうと思います。

今年度も患者が主役である医療を心がけ、スタッフ一同頑張っていきたいと思っております。

#### ◇上下部消化管内視鏡検査

(単位：例)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
上部消化管内視鏡検査	430	442	426	426
下部消化管内視鏡検査	135	117	128	92

# 泌尿器科

泌尿器科 阿部 俊和

当診療所を受診する患者様は高齢者が多く、ゆえに泌尿器科を受診する患者様の多くは他の慢性疾患も有しており全人的に診療する必要があります。例えば高血圧症、糖尿病などの疾患では、疾患がもたらす症状として頻尿や夜間頻尿がありますし、更に使用する薬剤による副反応でも同様に尿量の増大や尿の回数の増加も見られます。

私は泌尿器科として診療に当たってはおりますが、このように高齢者ではいくつかの疾患を併せ持っていることが多いため、内科的な疾患に関しても同時に診療を行っています。農村の診療所の特性でむしろ泌尿器科を診るより内科疾患を診る事の方が多く、時には外科・整形外科的な疾患をも診させていただいております。

当診療所では泌尿器科における手術器具や膀胱内圧測定機はありませんが、膀胱内視鏡システムや経直腸超音波プローブ、尿流測定機、超音波簡易残尿測定機を有しており、膀胱癌患者の定期的膀胱内視鏡検査や前立腺癌疑いの患者様に対する前立腺生検、排尿障害患者様に対する尿流測定に残尿測定等専門的な検査が可能です。コロナ禍にあり患者様の受診抑制や、入院施設がないためリスクの高い患者様への侵襲をとまなう検査は近年減少しておりますが可能な範囲で安心安全に検査を実施しております。

水沢や北上の専門医への通院が困難な患者様に対しても、なるべく町内で泌尿器科的な専門性の高い医療が受けられるように今後とも診療を継続してきますのでよろしく申し上げます。

## ◇主な検査

膀胱鏡検査	: 13 件
前立腺生検	: 1 件
尿流測定	: 23 件
残尿測定	: 137 件
腹部超音波検査	: 74 件
自己導尿継続患者数	: 11 名
膀胱瘻患者数	: 2 名



# 外 科

外科長 古田 一裕

外科の診療内容としては消化器一般外科、整形外科疾患、癌一般の診断および癌終末期の在宅管理を主に行っています。

消化器一般外科の診療としては消化器疾患、肛門疾患、外傷、体表の腫瘍、褥瘡、皮膚疾患、爪の疾患、熱傷を主な診療対象としています。創処置、熱傷に関しては可能な症例には閉鎖湿潤療法を心がけて診療しています。また褥瘡に関しては解放湿潤療法を主に行っています。巻き爪に対しては主に矯正治療のコレクティオを行っていますが難治症例に関してはフェノール法を開始しました。

肛門疾患に関しては診断と保存的治療を行っていますが内痔核に対しては四段階注射療法（ジオン注射療法）の導入を準備しましたがまだ施行していません。手術が必要な症例に関しては手術可能な近隣外科に紹介をしています。

整形外科疾患に関しては平成 30 年 7 月より、月 2 回の非常勤医師による整形外来が開始されました。緊急を要さない骨折が当院でも診療可能となりました。対象疾患としては骨折、腰痛、肩関節周囲炎、骨粗鬆症、脊柱管狭窄症、変形性膝関節症です。江刺病院整形外科、胆沢病院整形外科、北上済生会病院整形外科、県立中央病院整形外科に紹介し診断および治療の確定をした後に当科での経過観察とするようにしています。人口構成の高齢化にともなってさらに整形外科疾患の診察の需要が昨年にも増して増加しています。今後もさらに高まると思われ、平成 2 年度より毎週の診察日となっています。

癌の診療に関しては内科、加藤先生の協力のもと上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査を積極的に行っています。また癌末期の在宅診療、在宅緩和ケア、看取りも積極的に行っています。胆沢病院、県立中部病院の化学療法の補助（GCSFの投与）も行うようにしています。また乳がんのホルモン療法の依頼もあり今後、徐々に増加すると思われます。

昨年度より高齢者の転倒による頭部外傷に対して積極的な頭部CT撮影をしているが本年度も頭蓋内出血を伴う症例認め近隣脳外科への紹介を行っています。今後も継続して撮影を行うこととしています。

診療実績は令和 3 年度外科年報でみると前年度と比べて外科関連疾患数は微増増加傾向にあります。新型コロナの流行で受診を控える傾向にあるなか、外科の受診者数が増加したのは町内で外科対象疾患の初診施設として周知されつつあると考えられます。

◇令和3年度 外来診療実績 ※()内は前年度実績

縫合処置	74 (107) 件	抜爪、爪周囲炎	44 (14) 件
2度熱傷以上	16 (58) 件	切開排膿	20 (31) 件
コレクティオ	2 (1) 件	肛門鏡検査	15 (22) 件
肛門疾患患者数	164 (139) 件	骨粗鬆症患者数	537 (573) 件
骨折の診断	68 (80) 件		

◇出席学会等

日本外科学会、日本胃癌学会、日本乳癌学会、日本大腸肛門病学会、全国国保地域医療学会

# 神 経 内 科

担当看護師 石母田 陽子

令和3年度も、岩手医科大学付属病院脳神経内科より水野昌宣先生の応援をいただき、毎週木曜日午後の診療を行うことができました。患者数は前年度より8名増加の153名でした。今年度も昨年度同様、所内の各科からの紹介に加え、数名ではありますが近隣医療機関からの紹介がありました。また当診療所からは、精査・加療目的にて岩手医大や胆沢病院への紹介もあり、各科及び近隣医療機関との連携を図ることができました。1カ月の外来受診者数は平均13人前後で、主な症状は、手足のしびれ、めまい、ふらつき等でした。

次年度からは引き続き岩手医科大学付属病院脳神経内科より大浦一雅先生に応援いただけるようになりました。今後も各科と協力しながら患者数の増加に取り組んでいきたいと思っております。

神経内科の診療は以下のとおりです。

診療医師	水野 昌宣 先生
診 察 日	毎週木曜日午後
受付時間	15時30分まで
診療時間	14時～16時30分まで（受付された方が終了するまで）

# 婦 人 科

担当看護師 木村優李

令和3年度も引き続き、岩手医科大学教授、福島明宗先生の応援により毎月2回木曜日の午前中に診療を行うことができました。

一日平均患者数は約11人で、年間を通してみると町民検診後の9～10月以降増加傾向でした。

受診目的として、精密検査、リングペッサリー使用のための処置等経過観察、更年期障害、月経不順、膣炎等でした。

前年度よりは精密検査件数は減ってはいますが、定期的に子宮筋腫や卵巣のう腫等で経過観察する患者様が定着してきております。手術や継続的治療が必要な方は盛岡赤十字病院や県立中部病院へ紹介し、スムーズな連携を図ることが出来ました。

婦人科では、さまざまな悩みを抱え、年齢や羞恥心で相談できずにいる方も多いと思われます。小さな悩みでも相談できる環境を作っていきたいと思っております。

## ◇令和3年度検査件数

検 査 項 目	件 数
子宮頸部細胞診	46 件
子宮内膜細胞診	3 件
超音波検査	53 件
その他（CT造影等）	5 件

# 整形外科

担当看護師 新岡 蘭

令和3年度は、北上済生会病院整形外科の金野大地先生に応援をいただき、毎週火曜日午後に診療を行うことができました。

特に、変形性膝関節症、変形性股関節症の患者様が多く、注射・処置件数については年々増加しています。また、高齢となり、かかりつけの整形外科へ通院することが困難となった患者様の受診も増えており、予約枠限度の人数を受け入れることも少なくありません。

MR I 検査が必要な患者様においては、奥州市立総合水沢病院との連携で精査・診断が可能となっています。手術が必要な患者様においても、北上済生会病院や県立中部病院等、近隣の医療機関との連携をはかることで、スムーズに治療が開始できています。

## ◇令和3年度 検査・処置件数

検査、処置	件数
トリガーポイント	80件
関節腔内注射	156件
X線	229件
C T (委託MR I 含む)	41件

# 眼 科

担当看護師 高橋 須磨

眼科は平成 30 年 2 月の開設から約 4 年が経過しました。

診療時間は毎週月曜日の午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分の受付となります。

1 週間に 1 度午後のみ診療となりますので、視力・眼圧測定、精密眼底検査、眼底カメラ撮影等検診を中心とした診察となります。月 1 回の視能訓練士により眼鏡矯正を開始し、眼鏡処方も行っております。

診察のうえ、白内障で手術が必要な方や、緑内障で継続的に治療が必要で視野検査が必要な患者様はや北上済生会病院へ紹介しております。手術後の経過治療は当所で行うことにより患者様の負担の軽減につながったと考えます。また地域連携として県立胆沢病院や北上済生会病院よりご紹介頂くこともあり、今後さらに連携を深めていきたいと考えております。

来院する方は、遠方まで通院することが困難な方が多く、身近な存在としてご利用頂けるよう努力したいと思います。

◇令和 3 年度 患者数（延べ人数）：455 人

上記のうち初診：93 人

## ◇令和 3 年度検査件数

検査項目	件数
鼻涙管ブジー	21 件
涙管通水、通色素検査	20 件
眼底カメラ	69 件
眼底三次元	40 件
矯正視力	270 件
屈折検査	143 件
細隙灯顕微鏡検査	442 件
精密眼圧	288 件
精密眼底	314 件

# 循環器内科

担当看護師 高橋 須磨

令和3年度も引き続き、佐藤紀夫先生に応援をいただき、毎週木曜日の午前に診療を行うことができました。1日平均10人程度の患者さんが来院しており心房細動、心室性期外収縮、うっ血性心不全などの診断治療が中心でした。入院が必要な患者様は他病院へ紹介しスムーズな連携を図っています。

◇令和3年度 患者数（延べ人数）：588人

上記のうち初診： 51人

ホルター心電図検査数：54件

心エコー検査数：46件

# 歯 科

歯科長 高橋 通訓

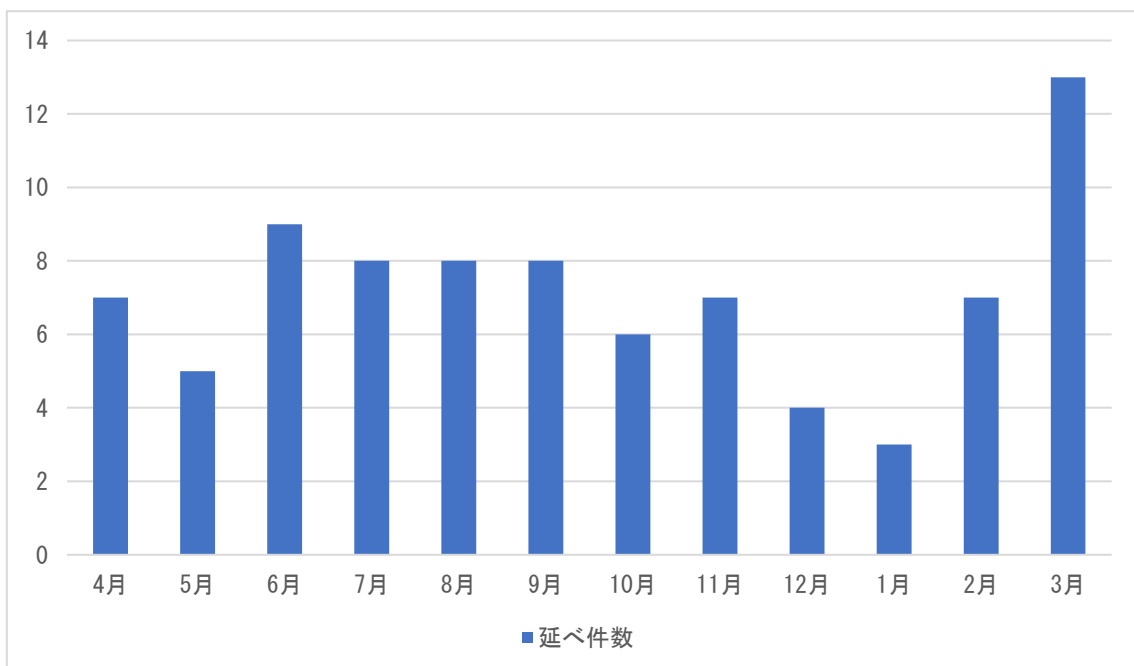
2020年暮れ、岩手県はクラスターで新型コロナ患者が盛岡を中心に一時的に増加したものの、その後落ち着き殆ど感染者を出さずに推移しましたが、令和3年度春から奥州保健所管内でも感染者が出始め、受診控えも散見されました。年明けからは40～70人ほどの感染者が毎日発表され、感染者を出した施設からの受診者や、濃厚接触者になったためのキャンセルが多くなりました。

コロナとは関係なく、歯科では令和2年度から感染予防として全てのインスツルメントの滅菌消毒を開始したわけですが、さらにコロナ対策として2番ユニットを使用停止し患者間の距離を離しました。待合室には次の患者のみを待たせ他は会計待合室としましたが、午後はワクチン接種で会計待合室を使用できない日も多く苦労しました。その都度接触したあらゆる場所のアルコール消毒をするなど日常業務がさらに増える中、休日もワクチン接種の受付など、一人体制となった衛生士に負担をかけた1年でした。

歯科用金属の高騰も深刻で、見かけ上売り上げを伸ばす歯冠修復も実質利益を押し下げる要因となっていたなか、ロシアのウクライナ侵攻でさらなる値上げが予想されたため、予め金属の確保に努めました。

令和4年度も厳しい状況は続くと思いますが、町民の健康維持増進に少しでも貢献していきたいと思えます。

## ◇令和3年度 訪問歯科診療別のべ患者数





令和3年度 歯科保健活動実績

		日付	曜日	場所	内 容	対象者
1	R3	4月21日	水	保健センター	1歳6か月健診	7名
2		4月27日	火	保健センター	3歳6か月健診	17名
3		6月8日	火	保健センター	3歳6か月健診	13名
4		6月9日	水	保健センター	1歳6か月健診	13名
5		7月14日	水	保健センター	1歳6か月健診	13名
6		7月20日	火	保健センター	3歳6か月健診	16名
7		9月1日	水	保健センター	1歳6か月健診	16名
8		9月14日	火	保健センター	3歳6か月健診	10名
9		10月20日	水	保健センター	1歳6か月健診	18名
10		10月26日	火	保健センター	3歳6か月健診	11名
11		12月8日	水	保健センター	1歳6か月健診	10名
12		12月14日	火	保健センター	3歳6か月健診	16名
13	R4	1月19日	水	保健センター	1歳6か月健診	19名
14		1月25日	火	保健センター	3歳6か月健診	18名
15		3月9日	水	保健センター	1歳6か月健診	11名
16		3月15日	火	保健センター	3歳6か月健診	14名
合 計						222名
<b>幼稚園歯科健診</b>						
1	R3	5月18日	火	南方幼稚園	幼稚園児歯科健診	年長 30名
2		5月25日	火	南方幼稚園	幼稚園児歯科健診	年少 30名 欠1名
3		6月1日	火	南方幼稚園	幼稚園児歯科健診	年中 32名欠1名+年少1名
4		6月8日	火	永岡幼稚園	幼稚園児歯科健診	11名
5		6月15日	火	六原幼稚園	幼稚園児歯科健診	24名
6		6月23日	水	三ヶ尻幼稚園	幼稚園児歯科健診	17名
7		8月10日	火	南方幼稚園	幼稚園児歯科健診	健診未受診1名
合 計						146名
<b>各種講座</b>						
1	R3	12月3日	金	瘤木公民館	出前講座	オレンジサロン
<b>糖尿病教室</b>						
<b>個別地域ケア会議</b>						

**各種検診**

1	R3	8月2日	月		人間ドック	1名
2		8月3日	火		人間ドック	1名
3		8月4日	水		人間ドック	1名
4		8月18日	水		人間ドック	1名
5		11月1日	月		人間ドック	1名
6		11月18日	木		人間ドック	1名
合 計						6名

**2歳半歯科健診**

1	R3	4月			2歳半歯科健診	7名
2		5月			2歳半歯科健診	6名
3		6月			2歳半歯科健診	4名
4		7月			2歳半歯科健診	10名
5		8月			2歳半歯科健診	6名
6		9月			2歳半歯科健診	7名
7		10月			2歳半歯科健診	12名
8		11月			2歳半歯科健診	4名
9		12月			2歳半歯科健診	8名
10	R4	1月			2歳半歯科健診	5名
11		2月			2歳半歯科健診	11名
12		3月			2歳半歯科健診	9名
合 計						89名

**成人歯科検診**

1	R3	6月			成人歯科検診	1名
2		7月			成人歯科検診	4名
3		8月			成人歯科検診	2名
4		9月			成人歯科検診	2名
5		10月			成人歯科検診	3名
6		11月			成人歯科検診	4名
7		12月			成人歯科検診	5名
合 計						21名

後期高齢者 歯科健診

1	R3	6月			後期高齢者 健診	2名
2		9月			後期高齢者 健診	1名
3		10月			後期高齢者 健診	3名
4		11月			後期高齢者 健診	2名
5		12月			後期高齢者 健診	3名
合 計						11名

妊婦歯科健診

1	R3	4月			妊婦歯科健診	2名
2		5月			妊婦歯科健診	1名
3		6月			妊婦歯科健診	1名
4		8月			妊婦歯科健診	1名
5		11月			妊婦歯科健診	1名
6		12月			妊婦歯科健診	3名
7	R4	3月			妊婦歯科健診	2名
合 計						11名

あべ歯科 CT 依頼

1	R3	5月20日	木		あべ歯科 CT	1名
2		5月31日	月		あべ歯科 CT	1名
合 計						2名

# 禁煙外来

担当医師 阿部 俊和

担当看護師 小野寺 利佳（文責）

今年度3月末までの禁煙外来受診者は0名でした。数名禁煙希望で受診するものの治療開始には至っておりませんでした。

この数年禁煙外来を受診する方が減少してきており今年度については受診治療者がゼロとなり健康被害に対する意識が薄らいできているのではと感じています。また、コロナ禍において受診を躊躇している方もいたのではと思います。また、後半には内服薬やパッチの供給不足により受診さえも受け入れられない状況も一つの要因と考えられます。

今後も禁煙の重要性を改めて認識して頂けるようポスター掲示等を利用し啓発活動を行っていただければと思っております。

# 訪 問 診 療

担当看護師 高橋 須磨

令和3年度は昨年同様、阿部所長、古田副所長、加藤内科長の医師3人と看護師6人合わせて9人体制で訪問診療を行いました。一度の訪問には医師1名と看護師1名の2人で回っていました。高齢化社会に伴い在宅医療へのニーズが高まる中、病院に通うのが困難になる方や、病気や障がいがあって通院が困難な患者様のもとに定期的に診察を行っています。

今年度も昨年同様、週3回訪問診療を行うことができ、訪問申請件数は67名となりました。今年度の新規申請人数は昨年度よりの4名減少の28名でした。通常訪問診療は月に1～2回の対応をしていますが、患者さんの容体の変化に応じ足を運ぶことが何度かあり、訪問延べ回数は102回となりました。また、訪問看護ステーションとの連携のもとに、自宅で自宅での看取りは9名でした。自宅での看取りは家族の負担もありとても簡単なことではありません。しかし、住み慣れた家で過ごしたい、また自宅で最期を迎えたいという患者様の気持ちと家族の心に寄り添いながら、今後も安心できる医療を提供して行きたいと思えます。

◇令和3年度 訪問診療等集計表

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	R2 年度	R元 年度
		訪 問 診 療	訪問診療申請者数	41	42	44	42	42	43	45	43	43	45	46	43	
訪問実人数	38		38	38	41	39	40	38	35	40	38	39	40			
訪問延人数	38		38	39	42	39	41	39	35	40	38	39	41	469	414	434
訪問延回数	9		9	8	8	8	9	8	8	7	9	9	8	102	94	95
新規依頼患者数	3		2	3	1	2	1	2	2	4	3	3	1	28	32	17
(内: 自宅での看取り)	1		0	2	2	0	0	1	1	0	0	1	2	9	16	8
訪問終了人数	1		1	3	2	0	1	3	3	1	2	4	4	27	30	22

# 患者紹介、逆紹介

担当看護師 石母田 陽子

令和3年度の他病院への紹介患者は前年度より58人減の238人、逆紹介患者は6人減の165人でした。紹介患者は入院の必要な重症患者、消化器のポリープ切除術、前立腺生検及び手術目的の紹介が多くを占めており、紹介先は主に県立胆沢病院、県立中部病院、総合水沢病院でした。また前年度同様、眼科から精査加療目的のため北上済生会病院への紹介が多くみられました。逆紹介では主に近隣の医療機関から、近医でのフォローアップ目的で紹介して頂きました。救急搬送患者は、昨年より7人減の21人でした。

# 訪問看護ステーション

訪問看護係長 千田 瑞穂

令和3年度の訪問看護ステーションは、看護師常勤専従3名と常勤兼務6名で、指定訪問看護ステーションの人員の基準の3人体制で行いました。

訪問看護利用状況は、訪問実人数が74名で前年度より6名減少し、訪問延人数は2,161名と前年度比で128名の減少となりました。内訳として、医療保険対象者の延人数は前年度比で66名増加し、介護保険対象者の延人数は1,194名減少しました。医療保険対象者の中には医療処置が多く頻回の訪問が必要な方において増加傾向となりました。介護保険対象者の延人数の減少は、病状安定により訪問回数が減少したためと考えられます。

関係機関や多職種との連携強化において、対面でのサービス担当者会議や退院時カンファレンスの開催は減少しましたが、退院時カンファレンスに5回参加し（胆沢病院、中部病院、まごころ病院、岩手医大、岩手病院）、退院後のスムーズな在宅療養につながるよう努めました。

その他の業務として、岩手県立大学看護学部、水沢学苑看護専門学校の実習を受け入れ、計10名の学生の指導を行いました。

# 地域保健活動

医療係

地域住民の健康増進を図るため、保健事業を実施しました。

## 1. 保健活動

事業名	内容	担当者	人数
BCG予防接種	乳児を対象とした集団予防接種	医師、看護師、保健師	6回 86人
乳幼児歯科検診	1歳6カ月児歯科健診 2歳6カ月児歯科健診 3歳6カ月児歯科健診	歯科長、歯科衛生士	311人
骨粗しょう症検診	DEXA法による骨塩量測定	医師、放射線技師	215人
歯科検診	成人歯科検診 21人 後期高齢者歯科健診 11人 妊婦歯科健診 11人	歯科長、歯科衛生士	43人
金ヶ崎診療所健康増進運動教室	健康増進及び介護予防のためのストレッチ、筋力トレーニング	講師：(一財)金ヶ崎町生涯スポーツ事業団インストラクター	41回 1,239人



# 看護科

主任看護師 小野寺利佳

## 1. 看護体制

看護師数 7名 (看護師長 1名 主任看護師 1名 看護師 4名 非常勤職員 1名)

## 2. 看護科基本方針

- 1) 安全で安心な医療と看護を提供します
- 2) 医療事故を防止します
- 3) 住民の健康な生活の実現のため、看護領域の展開を行います
- 4) 健康講演会などで知識、意識の啓発を図ります
- 5) 保健医療福祉関係者との積極的な連携を図り協働して看護を提供します

## 3. 令和3年度の活動と成果

今年度は異動もなく7名のスタッフで業務を行いました。

日常の診療に加え、医療関連イベントとして年2回所内に疾病啓発目的のポスター展示を行いました。また、糖尿病教室については昨年度同様糖尿病通信の発行となりました。更に、平日午後の発熱外来と新型コロナウイルスワクチン接種の対応となり限られた人数で事故もなく従事することができました。また、土曜日と日曜日の集団接種にも可能な限り協力することができ良かったと思います。

今年度は出前講座には対応しませんでした。要望があれば対応していきたいと思っております。

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1) 糖尿病教室    | 糖尿病教室通信6回発行     |
| 2) 医療関連イベント | 5月12日「看護の日」イベント |
|             | 9月9日「救急の日」イベント  |

# 放射線室

診療放射線技師 佐々木 清光

## (1) 診療放射線室の業務内容

診療放射線部門は、「人に優しく心に温かい地域医療の提供に努めます」を理念に、

1. 患者様の視点に立って行動します。
2. 常に最善の方法を選択する医療を行います。
3. チーム医療を推進します。

を基本方針として業務を行っています。

主な設備は、一般撮影装置・骨密度測定装置・透視撮影装置・X線CT撮影装置です。

撮影業務は、保険診療に加えて事業所健診・住民検診・介護福祉施設入所者検診等に、積極的に取り組みました。

令和3年度の撮影件数は、前年度と比べて、一般撮影検査 13%減、骨密度検査 0.5%減、X線TV検査 13%減、X線CT検査 14%減 となりました。

次年度からエコー検査の人間ドック（腹部エコー検査）のみ、診療放射線技師（臨床検査技師）が行うことになりました。皆様の健康維持の一助になればと思います。

## (2) 令和3年度の業務統計

項目	一般撮影検査		骨密度検査		X線TV検査		X線CT検査	
	件数	一日平均	件数	一日平均	件数	一日平均	件数	一日平均
4月	107	5.1	88	4.2	11	0.5	36	1.7
5月	103	5.7	82	4.6	11	0.6	36	2.0
6月	101	4.6	66	3.0	8	0.4	29	1.3
7月	89	4.5	168	8.4	10	0.5	21	1.1
8月	310	16.3	62	3.3	10	0.5	64	3.4
9月	239	12.0	147	7.35	10	0.5	55	2.8
10月	181	8.6	64	3.0	9	0.4	47	2.2
11月	88	4.4	76	3.8	7	0.4	35	1.8
12月	112	5.9	88	4.6	9	0.5	34	1.8
1月	206	10.8	32	1.7	9	0.5	32	1.7
2月	103	5.7	62	3.4	8	0.4	30	1.7
3月	130	5.9	132	6.0	11	0.5	36	1.6
累計	1769	7.4	1067	4.5	113	0.5	455	1.9

# 検 査 室

主任臨床検査技師 亀井 浩

## ◇検査室基本方針

1. 患者さまへ信頼のおける検査を心がける
2. 精度の向上と質の高い迅速なデータを提供する
3. 専門知識の習得、技術の研鑽に努める

## ◇業務動向

新型コロナウイルスの感染増加により、外来は一年を通して午前は診療、午後はワクチン接種の対応となりました。外来診療の時間短縮に伴って検査件数が減少すると思っていましたが、午前中に検査が集中し検査数は昨年度と比較して約2%の減と、昨年と同程度の検査数となりました。また、午後は発熱外来が開設され、受診者は至急対応で検査を行う事となりました。

生化学自動分析装置が更新され、精度・処理速度が向上し、よりスピーディーに結果報告ができるようになりました。試薬使用量が減り、自動化も進みコストの削減と作業時間の短縮も実現できました。

## ◇検査機器の更新

生化学自動分析装置 Canon Accute RX  
卓上遠心機 コクサン H-36 アルファ

## ◇令和3年度検査実績

検査項目	件数(項目数)
生化学検査	42,364
一般検査	16,246
血液学的検査	15,240
血清学的検査	1,903
生理学的検査	944
委託検査	3,053
合計	79,750

\*検査項目は診療報酬点数算定単位

## ◇令和3年度参加 臨床検査精度管理調査

岩手県医師会  
岩手県臨床衛生検査技師会  
デタミナーサーベイ  
栄研サーベイ  
セキスイコントロールサーベイ

# 薬 局

薬剤師 小野寺 甲仁

ほとんど院外処方を実施しているため、調剤業務としては検査前処置薬の調剤のみとなっております。主な業務は以下のとおりです。

## 1. 薬品・診療材料の購入及び管理

期首見積もり、購入、在庫の確保（薬品；1か月分、診療材料；3か月分）、使用期限の管理・報告等によって診療が円滑におこなわれるよう心がけています。

在庫管理はレセプト連動となっており、月末に調べた実在庫との誤差の調査・修正を行っています。

## 2. 医薬品情報管理（D I）業務

医薬品安全対策情報、各メーカーからの文書の回覧で情報の共有化を図っています。医薬品等に関する問い合わせに対しては、メーカーのホームページの閲覧、メーカーD I室に直接電話をかける等で情報収集をし、迅速な回答に努めています。

## 3. 所内勉強会の開催

毎月第4月曜日に製薬会社のMRさんにご協力をいただき開催しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、全体での勉強会は行わず、医師・看護師・薬剤師でWEB講演視聴を2回実施しました。

## 4. 学校薬剤師業務

今年度は、町内2小学校、2幼稚園、給食センターを担当しました。

小学校・幼稚園は夏・冬の年2回の環境調査の他に、三ヶ尻小、西小6年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。

給食センターには年1回秋に検査で伺いました。

## 5. 個別ケア会議出席

毎月第3火曜日の個別ケア会議にアドバイザーとして参加しています。

## 6. その他

《予防接種》 予約受付、個別接種予定表の作成

《請求事務》 各種料金請求（健康診断・互助会等）

《糖尿病教室》 今年度は “糖尿病教室通信 “の配布となりました。

# 外来栄養指導

管理栄養士 箱崎 栄里

下記のとおり外来患者の方に栄養指導を行いました。

## 1. 年代、性別人数

(単位：人)

年代	男性	女性	合計
20歳代	2	0	2
30歳代	0	0	0
40歳代	2	0	2
50歳代	4	2	6
60歳代	5	4	9
70歳代	1	3	4
80歳代	0	0	0
合計	14	9	23

## 2. 病態別人数（重複あり）

(単位：人)

疾病名	人数
糖尿病	11
脂質異常症	14
高尿酸血症	1
高血圧症	1
肥満症	1
肝機能障害	2
COPD	1
慢性糸球体腎炎	1
合計	32

# 人間ドック・検診部門

主任看護師 小野寺利佳

令和3年度も昨年度同様にドック・事業所健診・受託検診として金ヶ崎町役場職員の結核検診、胃内視鏡検査、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検査、高齢者施設の結核検診を行いました。

人間ドックについては10名と昨年度より1名の増、また事業所健診については前年度より79名の減少が見られました。減少の理由としては午後の診療が発熱外来、コロナウイルスワクチン接種対応の為に制限をした事が主因であると考えられます。特定健康診査については昨年同様の人数となっております。

次年度の健康診断については同数か増加傾向が予想され可能な限り対応をしていきたいと思えます。

今年度の件数は以下の通りです。

検診内容		受検者数
人間ドック		10名
事業所健診		732名
特定健康診査		41名
金ヶ崎町職員検診	結核検診	180名
	胃内視鏡検査	62名
	骨粗鬆症検診	2名
	肝炎ウイルス検査	37名

# 早 朝 診 療

担当看護師 伊藤 舞

平成 21 年 7 月から早朝診療を開始しております。今年度は昨年度と比較して、76 人増加の患者総数 210 人でした。

今年度の受診内容は、空腹時の血液検査、通勤前の定期受診、外科の処置が中心でした。対象者は金ヶ崎町内に勤務されている方や学生の利用が多く見受けられました。

今後も患者数増加を目標に、引き続き所内掲示の工夫、広報活動を行い、多くの方々に受診されるよう環境づくりに努めていきたいと思っております。

(単位:人)

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
21 年度	0	0	0	26	10	11	9	26	19	6	10	11	128
22 年度	13	11	7	4	15	10	14	12	20	22	15	12	155
23 年度	8	20	20	16	17	29	15	17	14	15	28	20	219
24 年度	20	18	14	21	27	24	19	30	27	28	19	42	289
25 年度	25	22	31	36	20	27	25	25	26	19	19	19	294
26 年度	20	21	13	20	12	15	14	18	40	19	17	15	224
27 年度	22	12	15	15	12	9	19	15	21	22	32	22	216
28 年度	14	17	25	17	13	11	15	16	11	11	15	11	176
29 年度	6	18	17	10	5	8	5	9	10	9	12	13	122
30 年度	13	7	11	11	12	6	19	7	13	21	11	9	140
元年度	23	4	10	10	10	10	7	7	16	7	8	12	124
2 年度	7	14	15	18	7	7	9	10	10	7	11	19	134
3 年度	21	10	11	11	14	15	19	25	35	15	11	23	210

# 土曜診療

担当医師 古田 一裕

平成 23 年 7 月より土曜診療を行っています。診療体制は医師の診察のみを行い X 線検査、臨床検査は行なっておらず、平成 23 年 11 月より住民サービスの一環として予約制で各種ワクチン接種を開始しました。

平成 25 年度も前年同様の体制で開始しましたが、平成 26 年 1 月より医師の勤務体制の変化により偶数週土曜日、午前だけの診療に変更しています。

令和 3 年度の土曜診療月平均受診者数は約 16.6 人（令和 2 年度 14.9 人、令和元年度 22.5 人、平成 30 年度 25.3 人、平成 29 年度 18.1 人、平成 28 年度 26.5 人、平成 27 年度 25.8 人、平成 26 年度 34 人、平成 25 年度 61 人、平成 24 年度 61 人、平成 23 年度 約 44 人）、また一日平均受診者数は平均約 16.6 人（令和 2 年度 14.8 人、令和元年度 10.8 人、平成 30 年度 12.7 人、平成 29 年度 9.08 人、平成 28 年度 13.3 人、平成 27 年 13 人、平成 26 年度 17 人、平成 25 年度約 17 人、平成 24 年度約 15 人、平成 23 年度 約 13 人）となっています。

平成 26 年度からは月 2 回の診療のため受診患者数は平成 27 年度まで減少傾向でしたがその後受診者数は増加し、平成 29 年度は減少しました。平成 30 年度は一時増加しましたが令和元年度は減少し令和 2 年度は増加しました。新型コロナウイルス感染症の流行でインフルエンザワクチン接種が早まり土曜診療での接種増加が関与したと思われます。令和 3 年度もインフルエンザワクチン接種者は前年に比較し増加していますが受診数は減少しています。新型コロナウイルス感染症のため受診を控え減少したと考えられます。

住民サービスとして開始した土曜診療ワクチン接種は令和 3 年度延 268 人（令和 2 年度 250 人、令和元年度 142 人、平成 30 年度 154 人、平成 29 年度 81 人、平成 28 年度 155 人、平成 27 年度 108 人、平成 26 年度 108 人、平成 25 年度 230 人、平成 24 年度 172 人）に行いました。

## ◇令和 3 年度 土曜診療ワクチン接種実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
アクトヒブ													0
プレベナー													0
ニューモバックス													0
麻疹風疹	1	1					1		1				4
子宮頸癌	1									1			2
B 型肝炎										1			1
ムンプス													0
破トキ										1			1
水痘								1			1		2
日本脳炎	4	1							5		6		16
D T	2												2
不活化ポリオ													0
麻疹													0
四種混合													0
インフルエンザ							10	102	112	8	4		236
合計	8	2	0	0	0	0	11	103	120	12	12	0	268



# 物理療法

担当看護師 村上 郁恵

令和3年度は、総利用件数が前年度よりも大幅に減少し、821人でした。一日平均利用人数は3.6人でした。

令和3年度は、コロナ感染症の心配などから外出を控えている方が多いことや、コロナワクチン・発熱外来対応等により午後の外来診療を行っていないこと（応援診療除く）などが利用件数減少の理由の一つと考えます。

そのような状況でも、やはり農作業の時期は利用される患者様が多く、肩こり・慢性期腰痛・急性期腰痛に対し低周波やウォーターベッドなどによる治療を行っています。

利用される患者様個々の症状を把握し、症状緩和につながるよう努めていきたいと思っております。

## ◇令和3年度 物理療法実施表

(単位：件、人数)

実施項目	件数	1日平均人数 <sup>※</sup>
熱気浴	8	0.1
牽引(腰)	10	0.1
(頸)	39	0.2
ウォーターベッド	271	1.2
低周波	330	1.5
ホットパック	163	0.7
総利用数	821	3.6
前年度	1,429	6.1

※土日、祝祭日を除く

# 発熱外来

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月		2月		3月		合計			
	R3								R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3		前年度比較
受入患者数	29	26	11	8	13	15	6	6	7	6	28	15	14	26	34	27	83	188	105	
PCR検査実施数	25	20	11	6	13	15	6	6	4	6	22	15	7	25	29	20	62	168	106	
陽性者数	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	0	4	0	13	13	
開設日数	21	16	14	13	13	13	12	11	11	17	20	12	18	11	23	15	72	168	96	
1日の平均患者数 受入患者数 ÷ 開設日数	1.4	1.6	0.8	0.6	1.0	1.2	0.5	0.5	0.6	0.4	1.4	1.3	0.8	2.4	1.5	1.8	1.2	1.2		

令和2年度は12月14日から開始

ワクチン接種対応のため令和3年5月24日（月）から毎週月曜日発熱外来中止

ワクチン接種対応のため令和3年6月4日（月）から毎週金曜日発熱外来中止

# 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種

(金ケ崎町及び岩手県国民健康保険団体連合会請求ベース)

単価：予診のみ 1694 円

単価：通常接種 2277 円

単価：休日接種 4620 円

1、2 回接種分は国庫負担金として町に請求するが、追加接種分は、接種費用（自由診療収入）として国保連に請求。

内容	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	人数	金額 (円)	人数	金額 (円)	人数	金額 (円)	人数	金額 (円)	人数	金額 (円)	人数	金額 (円)
予診のみ	0	0	12	20,328	17	28,798	2	3,388	2	3,388	8	13,552
接種	30	68,310	1,143	2,602,611	4,033	9,183,141	2,763	6,291,351	691	1,573,407	1,475	3,358,575
計	30	68,310	1,155	2,622,939	4,050	9,211,939	2,765	6,294,739	693	1,576,795	1,483	3,372,127
内容	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
	人数	金額 (円)	人数	金額 (円)	人数	金額 (円)	人数	金額 (円)	人数	金額 (円)	人数	金額 (円)
予診のみ	4	6,776	1	1,694	0	0	0	0		0		
通常接種	663	1,509,651	385	876,645	151	343,827	192	437,184	900	2,049,300	976	2,222,352
休日接種									354	1,635,480	5	23,100
計	667	1,516,427	386	878,339	151	343,827	192	437,184	1,254	3,684,780	981	2,245,452
内容	全体計		令和 3 年度コロナ関連補助金等収入									
	人数	金額 (円)	番号	名 称		金額 (円)						
予診のみ	46	77,924	1	岩手県新型コロナワクチン接種体制確保協力金		300,000						
通常接種	13,402	30,516,354	2	新型コロナウイルスワクチン個別接種促進交付金		31,684,000						
休日接種	359	1,658,580	3	新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金		5,496,260						
計	13,807	32,252,858 ①	4	新型コロナウイルス感染拡大防止継続支援金		80,000						
			5	基本型接種施設に対する協力金		250,000						
			6	新型コロナウイルス感染症における無症状濃厚接触者検体採取業務委託金		1件3,223円	0					
			7	自宅療養者への健康観察等に対する協力金		1日1,500円	13,500					
				計		37,823,760 ②						
							①+② = 70,076,618 円					

### 3. 委員会活動

## 保健福祉センター運営会議

委員長 阿部 俊和

従来、運営会議は診療所、歯科診療所の患者数や収益を職員全員が共有する目的と保健福祉センター事業を職員全体が認識し業務を円滑に運営する目的で行っていましたが、コロナ禍にありワクチン事業、発熱外来等の業務により午後にまとまった時間が取れず月末の朝礼後に 20 分程度で行いました。

基本的には診療所、歯科診療所の収支や業績等に関する報告、質疑応答が主体となりました。そのため、以前全職員が一同に会し、診療所・歯科診療所部門と保健福祉センター部門の2つの会議を同じ日程で行っていましたが、今年度は診療所・歯科診療所、訪問看護ステーションのみの会議と致しました。

診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション部門の毎月の収支の詳細、患者数を内科、歯科、更に婦人科、神経内科、眼科、整形外科、循環器内科の7つの部門に分けの報告があり診療所、歯科診療所の幹部職員が経営状態を共有致しました。月の累積の収支等に関しても報告があり、目標に対する進捗状況も認識してもらいました。早朝診療、土曜診療の患者数に関しても報告がありました。

看護科からは訪問診療の件数や看取りの数等の報告がありました。

レントゲン部門によるレントゲン検査の推移（CT、骨密度測定、透視、単純写真数など）、臨床検査科における検査数（一般検体検査数、心エコー、脈波検査など）、内視鏡検査数の報告もなされ、検査数の推移や多寡について検討致しました。

訪問看護ステーションからは利用状況、訪問回数、看取りの数や収支が報告されました。

従来行っていた各種委員会報告は時間の関係で割愛となりました。

この会議の本来の目的は診療部門、役場保健福祉センターの事務部門が一堂に会して会議を行い、情報を共有する事により連携を深める事でありましたので、コロナ禍が落ち着きましたら以前の形態に戻したいと考えております。

構成委員：委員長 阿部 俊和

委員 金ヶ崎保健福祉センター幹部職員

# 管理委員会

委員長 阿部 俊和

管理委員会は保健福祉センターの幹部により構成されており、今年度はワクチン接種の関係で午後に行うことができず毎週金曜日の朝礼後に10分程度行いました。

委員会では医師3名、歯科医師1名の2週間の出張、訪問等のスケジュール、事務長の週間予定に加え、看護科、訪問看護ステーションの行動予定、薬局・検査・レントゲンの2週間の予定と状況報告、保健福祉センターからは医療係、福祉係、介護保険係、元気100歳健康支援係のメンバーが、2週間のイベントや会議等のスケジュール、事業の進捗状況等の説明を行い、その調整も同時に行いました。また、診療所運営上の問題点や課題に関して協議しました。

診療所、保健センターを運営する上において幹部による毎週のスケジュール等のすり合わせは重要であり、来年度も継続していきます。

構成委員：委員長 阿部 俊和

委員	古田 一裕	加藤 善信	高橋 通訓	亀井 浩	小野寺 利佳
	千田 瑞穂	内田 真喜子	佐々木 清光	相澤 啓	佐藤 康博
	高橋 真一郎	及川 恵美	菊地 淑子		

# 広報委員会

事務長補佐兼医療係長 佐藤 美幸

広報委員会の活動は主として、保健福祉センターだよりの記事案を検討する会で、今年度は、発行日の前月に計6回開催しました。

保健福祉センターだよりは、広く町民に診療所、訪問看護ステーション及び保健福祉センターの業務をお知らせするために発行しているものです。

町民が知りたい最新情報を確実にお伝えすることができるよう、今後とも広報委員会の活動を続けてまいります。

## 1 委員会構成

委員長	放射線技師	佐々木清光			
委員	所長	阿部 俊和	歯科長	高橋 通訓	
	事務長	相澤 啓	副主幹	及川 恵美	
	看護師	吉田 聖子	看護師	新岡 蘭	
	看護師	木村 優李	主事	小野寺真也	
	主事	高橋 圭太	保健師	佐々木結衣	
	主事補	小原 莉世			

## 2 広報委員会開催日とたより発行日

回数	号数	広報委員会	発行日
1	84	令和3年 5月 14日(金)	令和3年 6月 17日(木)
2	85	令和3年 7月 12日(月)	令和3年 8月 19日(木)
3	86	令和3年 9月 9日(木)	令和3年 10月 21日(木)
4	87	令和3年 11月 15日(月)	令和3年 12月 16日(木)
5	88	令和4年 1月 12日(水)	令和4年 2月 17日(木)
6	89	令和4年 3月 7日(月)	令和4年 4月 21日(木)

3 発行部数 1号あたり 約5,500部

4 発行先 町内全世帯、近隣医療機関・福祉施設



# 保健福祉センター だより

2021. 4. 15 No.83

発行 金ヶ崎町保健福祉センター  
〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根樋水 98 番地  
Tel.0197-44-4560 fax.0197-44-4337

## ＊ 新年度のご挨拶 ＊



金ヶ崎診療所  
所長 阿部 俊和

新年度を迎えるに当たり、一言ご挨拶申し上げます。  
令和元年12月に武漢で発生したといわれる新型コロナウイルス感染症は令和2年1月に国内でも初確認され、今もってパンデミックの状況が続いております。

このウイルスは感染力が強く、また、高齢では重症化しやすいため、感染防止目的で午後は基本的に一般外来の方にはご遠慮いただき、発熱者の対応に充てております。

発熱患者様には電話で連絡をいただいた後、午後に受診していただき、我々医療者は、感染防御用のガウン、帽子、マスク、フェイスシールド、手袋を装着し

万全な感染対策で診療に当たっております。

なお、当診療所では4月から医療従事者対象の新型コロナウイルスワクチン先行接種、更に5月からは高齢者等、順次ワクチン接種を行う予定です。

対象者が非常に多く、午後は発熱患者対応とワクチン接種が主体となり、一般患者様にはご不便をおかけしますが、ご配慮の程よろしくお願いたします。

内科、外科、泌尿器科、歯科の常勤医による通常診療、更に非常勤ではありますが、眼科、整形外科、婦人科、神経内科、循環器内科の診療も従来通り行います。訪問診療、訪問看護も例年と同じように継続致しますので、どうぞよろしくお願致します。

一刻も早く町民の皆様がワクチンが行き届き、安心・安全な生活を取り戻せますように祈念申し上げます。



## 今日からできる花粉症対策

すでに岩手県のスギ花粉の飛散が始まりピークを迎えつつあります。本年は例年の1.7倍の飛散量と予測されています。

花粉症は花粉に対するアレルギー症状です。花粉症の症状は目のかゆみ、充血、涙がでる、くしゃみや鼻水、鼻閉感、のどの痛みが知られていますが頭痛や倦怠感などもあります。喘息の発作を誘発したり、皮膚のかゆみを悪化させることも知られています。

花粉症の予防は、花粉暴露量を減らすことです。

新型コロナウイルス感染症対策でマスクを使用されておられると思いますが、コロナ対策、花粉症対策どちらにも効果があるのは不織布マスクです。

眼鏡の使用も目のかゆみに効果があります。点眼薬などを使用します。

花粉症の症状と思われる方は医療機関を受診してください。

文責：副所長 古田 一裕



# 診療案内

金ヶ崎診療所 ☎44-2121

診療科：内科、神経内科、循環器内科、泌尿器科、外科、婦人科、肛門外科、眼科、整形外科

☆一般外来の診療予約は午前中としております。☆

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	第2・第4
午後	○	○	○	○	○	

- ◆早朝診療：8時から（会社員、学生等対象。受付7時30分から）
- ◆午前：8時45分から12時30分（受付：8時30分から11時30分）
- ◆午後：13時45分から17時（受付：13時30分から16時30分）

◆令和3年4月から整形外科、神経内科の診療体制が変わりました！！  
整形外科：毎週火曜日午後  
神経内科：毎週木曜日午後



\*診療は予約制です。  
\*診療月日は、令和3年4月15日から6月17日までの予定を記載しています。

診療科	月	火	水	木	金	土
眼科	毎週月曜日	午後 4/19・26日	5/10・17・24・31日	6/7・14日		
整形外科	毎週火曜日	午後 4/20・27日	5/11・18・25日	6/1・8・15日		
婦人科	月2回木曜日	午前 4/22日	5/6・20日	6/10・24日		
循環器内科	毎週木曜日	午前 4/15・22日	5/6・13・20・27日	6/3・10・17日		
神経内科	毎週木曜日	午後 4/15・22日	5/6・13・20・27日	6/3・10・17日		

## 金ヶ崎歯科診療所 ☎44-2842

診療科：歯科、小児歯科

- ◆午前：8時45分から12時30分（受付：8時30分から11時30分）
- ◆午後：13時45分から17時（受付：13時30分から16時30分）

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	
午後	○	○	○	○	○	

完全予約制となっておりますので、事前にお電話で診療予約をお願いします。



# 保健福祉センター だより

2021. 6. 17 No.84

発行 金ヶ崎町保健福祉センター  
〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根樋水 98 番地  
Tel.0197-44-4560 fax.0197-44-4337

## 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種

金ヶ崎町内の65歳以上の新型コロナウイルスワクチンの接種が順次始まっております。

各町民の皆様には、ワクチンに関する封書が金ヶ崎町から届いているかと思いますが、接種日時や接種場所などを確認いただき、接種当日は、必要な書類をご確認の上、来所いただくようお願いいたします。

- <接種当日の持ち物>
- ① 接種券
  - ② 予診票
  - ③ 「確認のはがき」または「接種のお知らせ」
  - ④ 本人確認書類
  - ⑤ 作業手帳(持っている人)

ワクチンに関して不安なことは、『新型コロナウイルスワクチン問い合わせセンター』へお問い合わせ下さい。また、当日でも医師・看護師はいますので質問があれば聞いていただければと思います。

なお、ワクチン接種後、発熱や関節の痛み等で辛い症状が出た場合は、かかりつけ医または接種会場へお問い合わせ下さい。医師が判断し、対応いたします。

### 新型コロナウイルスワクチン接種風景



一連の流れ(受付→問診→接種→状態観察)所要時間は約1時間程度です。  
..接種予約日の変更又はキャンセル..

### 前日までの場合

『新型コロナウイルスワクチン問い合わせセンター』  
6月28日まで TEL:0120-567-719  
6月29日から TEL:0120-800-417(新番号)

### 受付時間 午前9時30分～午後4時(平日)

① 当日の場合  
接種会場にお問い合わせ下さい。  
国保金ヶ崎診療所・保健センター  
TEL:0197-44-2121  
他の接種会場については、各接種会場にお問い合わせ下さい。

### 新型コロナウイルスワクチン接種による国保金ヶ崎診療所 診療体制の変更

- 一般診療  
令和3年5月28日(金)から、毎週金曜日は、休診となりました。急患のみ、対応します。
- 土曜診療  
令和3年5月29日(土)から、第2・第4土曜日の土曜診療は休診となりました。急患も、対応できません。



町民の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、迅速な新型コロナウイルスワクチン接種のため、休診についてご理解いただけます。診療体制変更のご不明な点は、国保金ヶ崎診療所 TEL:0197-44-2121 にお問い合わせ下さい。

## 金ヶ崎診療所神経内科のご案内

金ヶ崎診療所では、岩手医科大学からの応援により、令和3年4月から神経内科診療を毎週木曜日の午後に行っています。

神経内科では、主に脳梗塞、てんかん、パーキンソン病、その他神経難病の患者さまを対象に治療を実施しております。

現在、このような疾患で遠方の病院に入院されている町民の方も、主治医の許可を得て当院で治療を継続できる場合もございますので、どうぞお気軽にご相談ください。

また、当科では今年度より新たにボツリヌス療法を開始いたしました。症状によってはボツリヌス療法の適応にならない場合もございますので、受診のうえ医師にご相談ください。



ボツリヌス療法  
力が過剰に入ってしまった筋肉をほぐす治療法で、手指を動かしやすくし、その後のリハビリテーションの効果を高めることが期待できます。

## 食中毒に注意しましょう！！

夏は湿気や気温が高く細菌が増えやすい季節です。正しい知識を身につけて食中毒を防ぎましょう。

### ◆食中毒予防の原則とポイント

- ① しっかり手を洗う(調理前、生ものを取り扱う前後等)
  - ② 加熱しないで食べるものを先に取り扱う
  - ③ 包丁やまな板を肉用、魚用などに分ける
  - ④ 食品を保管する際は、密閉容器に入れたりラップをかけておきます
  - ⑤ 野菜や果物はよく洗ってから調理する
- ① 低温で保存する  
肉や野菜などの生鮮食品やお惣菜は購入後できるだけ早く冷蔵庫に入れる
- ② 冷蔵庫を過信せず、早めに食べる
- ① 肉料理は中心部までよく加熱する  
② 使用後の調理器具は洗浄、消毒する  
塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)や熱湯(85℃で5分以上)が有効





# 保健福祉センター だより

2021. 8. 19 No.85

発行 金ケ崎町保健福祉センター  
〒029-4503 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根樋水 98 番地  
TEL0197-44-4560 fax0197-44-4337



## 新型コロナウイルスワクチン 接種状況等について

国保金ケ崎診療所 所長 阿部 俊和

本稿を作成中の7月19日時点においても、全国的に見て新型コロナウイルス感染はまだまだ勢いが止まらない状況です。しかしながら、高齢者に関しては感染者数、重症例も減少傾向にあると報道されています。この兆候は高齢者のワクチン接種効果の現れと言われております。

金ケ崎町における高齢者のワクチン接種は順調に進んでおり、65歳以上の高齢者のワクチン接種は、7月中旬には完了できそうです。

その後、基礎疾患を有する方の接種が始まり、64歳以下の一般住民への接種が始まります。副反応で最も懸念されるアナフィラキシーショックについては、金ケ崎町で行った7,000名を超える接種で一例も発生しておりませんが、今後とも慎重に接種を続けていきます。

接種した腕の筋肉痛や発熱の副反応は多くみられますが、ほとんどは1日から数日で改善します。痛みや発熱が心配な方は、あらかじめ薬店で解熱鎮痛剤を購入しておきましょう。

新型コロナウイルスに感染した場合、自身の生命が脅かされるとともに同居している家族への感染拡大、入院や隔離といった困難が生じます。未だ特効薬は開発されておらずワクチンが唯一の感染制御薬です。接種可能な方は早めに、積極的に受けましょう。

ワクチン接種が進み、新型コロナウイルス感染症が収束することを切に祈念致します。金ケ崎診療所は今後も貴方とワクチン接種を続けてまいりますので、よろしくお祈りします。

ワクチンを受けた後も、マスク着用など感染予防対策の継続をお願い致します。



## 新型コロナウイルスと口腔清掃

文責: 歯科長 高橋 透朗

mRNA ワクチンを開発したことで今回一躍知られることになった科学者 カタリン・カリコ博士によるとワクチンを接種すると、ウイルスが最初に入る口腔内の唾液にも中和抗体が認められたとのこと。90%以上の効果を示すmRNA ワクチンですが100%ではありません。

まずはかからないこと、ですから接種後もマスク、手指の消毒等は大切なことです。新型コロナウイルスの体内への侵入を許す ACE2受容体は、味を感じる味蕾(みらい)や匂いを感じる嗅細胞、肺などにあるので、新型コロナに感染すると味覚や嗅覚や重篤な肺炎を発症するのは理解できます。

速速に感染した場合、問題になるのが重症化です。特に免疫の暴走サイトカインストームです。そのサイトカインストームのきっかけのひとつが、菌体成分であるエンドキシン(内毒素)です。実はこの内毒素、歯周病菌の菌体成分でもあるのです。口腔衛生状態が悪い人や歯周病があると、内毒素が血中に入りエンドキシン血症となり、サイトカインストームを引き起こす危険性が高まると言われています。エンドキシンの血中濃度は歯磨きを怠ると上昇し、しっかりと行うと下がることが確かめられています。ですから口腔清掃は、感染自体は避けられなかったとしても、重症化する程度回避する効果は期待できると考えられます。昨年、歯周病とアルツハイマー型認知症との関係が九州大学から発表されました。また以前から、歯周病と糖尿病が関係していることはわかっています。少し難しい話になってしまいましたが、口は体の玄関です。玄関を汚していると予期せぬ疫病精神が体に入ってくる、ということをおぼえていただけたらと思います。

町では、高齢者の皆様を対象にした各種助成券を交付していますので、ぜひご活用下さい。

はりきゅう・マッサージ等施術助成券	福祉タクシー助成券
<p>■対象者 町内に住所を有する70歳以上で住民税が非課税の方</p> <p>■助成内容 施術1回につき1枚使用できる助成券を 6枚交付します。 助成額は1枚につき500円です。</p> <p>■利用できる治療院等 ○小澤はりきゅうマッサージ治療院(住所:西根古寺15番地2) ○すずき鍼灸院(住所:六原下二の町21番地)</p> <p>■申請の手続き 印鑑を持参し、保健福祉センター窓口までお越しください。</p>	<p>■対象者 町内に住所を有する高齢者で、75歳以上のひとり暮らしの方、又は75歳以上のみで構成される世帯の方。但し、住民税非課税世帯のみです。他にも条件がありますので、お問い合わせ下さい。</p> <p>■助成内容 申請月から翌年3月まで 1カ月につき助成券を2枚交付します。 助成額は1枚につき初乗り料金分(現在540円)となりますが、1度に何枚でも使用できます。</p> <p>■利用できるタクシー会社 胆沢地区・北上地区タクシー業協同組合所属のタクシー会社</p> <p>■申請の手続き 各地区の民生委員にご相談ください。</p>

どちらの助成券も申請年度内でしか使用できません。  
詳しくは、保健福祉センター 福祉係 0197-44-4560 にお問い合わせ下さい。

# 保健福祉センター だより

2021. 10. 21 No.86

発行 金ケ崎町保健福祉センター  
〒029-4503 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根樋水 98 番地  
TEL0197-44-4560 fax0197-44-4337

インフルエンザワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種時期になりました。

内容	インフルエンザ	高齢者肺炎球菌
実施期間	令和3年10月1日(金)から 令和4年1月31日(木)まで	令和3年10月1日(金)から 令和4年3月31日(木)まで (事前予約が必要です。)
対象年齢	接種当日満65歳以上	満65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳で肺炎球菌ワクチン未接種の方
自己負担額	所得等により異なりますので、配布された資料をご参照下さい。	

【一般の方、小児の接種について】

【接種方法】13歳以上の方は1回接種、13歳未満の方は、2〜4週間空けて2回接種となっております。小児の助成券を受けた方は、接種の際に必ず各医療機関に助成券をご持参ください。

【料金】 一般 3,400円  
13歳未満 1回目 3,400円、2回目 2,400円(金ケ崎診療所で1回目の接種を受けた方に限る)。

【注意事項】

- ・インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌ワクチンは、同日に接種可能です。
- ・インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌ワクチンと、新型コロナウイルスワクチンの接種は2週間以上空ければなりません。両方のワクチンの接種を考えている方は、接種するタイミングに注意が必要です。迷われている方は、新型コロナウイルスワクチンの接種を優先することを勧めます。
- ・インフルエンザ及び肺炎球菌のワクチンはすべて平日の午前のみ実施しております。
- ・(小児は、火曜日、水曜日、金曜日に限ります)
- ・土曜診療(第2、第4土曜日)は人数を制限し、完全予約制で接種を行っております。(0197-44-2121)

ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合  
家庭内でご注意いただきたいこと〜8つのポイント〜

- ①部屋を分けましょう。
  - ②症状のある方のお世話は離れた方でいましょう。
  - ③マスクをつけましょう。
  - ④こまめな手洗い・アルコール消毒をしましょう。
  - ⑤定期的な換気をしましょう。
  - ⑥手で触れる共有部分の消毒をしましょう。
  - ⑦汚れたリネン・衣類の洗濯は手袋・マスクをつけ、一般的な洗剤で洗濯をし、しっかりと乾かしましょう。
  - ⑧ゴミは密閉して捨てましょう。
- かかりつけ医またはかかりつけ医をお持ちでない方は近医に電話でご相談ください。  
\*詳しくは『厚生労働省 家庭内感染を防ぐ』ホームページをご参照下さい。

## 50歳を過ぎたら、带状疱疹ワクチンを受けることができます

带状疱疹は強い痛みを伴う水ぶくれや赤い発疹が生じる疾患です。80歳までに約3人に1人がかかると言われています。多くは胸や背中、顔に出ますが、顔や眼、頭に出ることもあります。

原因はウイルスで、小児期には水ぼうそう(水痘)として発症します。これが治癒後も神経などに潜み続け、体の免疫が低下した時に带状疱疹として発症します。治療により皮膚症状はよくなるが約2割の人が带状疱疹後神経痛になるといわれています。痛みは数ヶ月から時には数年残る事もあります。場合によっては視力低下、失明、難聴、耳鳴りなどの合併症が起こる事もあります。完全に予防できる方法はありますが、ワクチン接種は带状疱疹の発症予防に有効とされています。



この予防接種は带状疱疹の発症率が約90%から受けることができます。接種を考えている方は、かかりつけ医や各医療機関にご相談下さい。

新型コロナウイルスワクチンを接種される場合、接種する2週間前後は他のワクチンを接種しないように推奨されております。接種のタイミングに注意が必要です。

〜清水翔太先生から臨床研修を終えてのメッセージ〜

国保金ケ崎診療所は、岩手県胆沢病院臨床研修医の臨床研修を受け入れる教育施設となっています。令和3年度は、清水翔太先生に7月1日から7月30日まで、当診療所の指導の下、臨床研修を実施していただきました。

このたび、清水先生から研修を終えてメッセージが届きましたのでご紹介させていただきます。

金ケ崎診療所での地域研修を受け入れていただき誠にありがとうございました。今回の研修で特に印象に残ったことは、診療所の地域に根ざした医療です。訪問診療・訪問看護はもちろんのこと、外来治療も診療科を問わずに金ケ崎診療所であるべく完結させ、また通院日程についてもバスの時間を考慮して予約を決めたりするなど、地域住民第一で動いていることが分かりました。



私は医師を目指した高校時代、地域医療に携わりたいと考えていましたが、大学時代や初期研修期間を経て自分は何の専門を目指すのか、自分は本当に地域医療に携わりたいのかと思うようになりました。

そのような心境の中で、今回の研修を経て自分が関わりたいのは「金ケ崎診療所のように地域住民の皆様方の日常生活の中にある医療だったなあ。」と思いつくことができました。私は3年目以降、消化器内科の専門医を目指して、研修を続けて行く予定です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



# 保健福祉センター

2021. 12. 16 №87

## だより

発行 金ヶ崎町保健福祉センター  
〒028-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根樋水 98 番地  
TEL:0197-44-4560 fax:0197-44-4337

### 冬場に多い転倒・骨折にご注意！！

文責:金ヶ崎診療所 所長 阿部俊和

金ヶ崎町は県内でも降雪量の多い地域ですが、昨年の積雪は近年まれな程多く、当診療所を利用していただいている高齢の患者様がロケに、こんな大雪は初めてだとおっしゃっておいりました。今年はどうでしょう？大雪にならないことを願っています。

さて、東北では冬期間道路が凍り転倒する方が多くいらっしゃいます。特に高齢者においては転倒により骨折が多発します。多いのは足の付け根の大腿骨頭部骨折、背骨の腰椎圧迫骨折、そして手首の骨折ですが、大腿骨や腰椎の骨折では容易に寝たきりとなります。転倒の原因にはロコモが大きく関わっています。

ロコモとは、ロコモティブ症候群の略で「運動器の障害によって、移動機能が低下した状態」と定義されています。ロコモの原因は主に3つで ①骨粗鬆症(骨が薄くなる)、②変形性関節症(膝などの関節変形、軟骨のすり減り)、③サルコペニア(特に下肢の筋肉量の減少)です。

このような状態のロコモにおいては、バランスの保持が困難となり、容易に転倒し骨折を起こします。

ロコモにおける骨粗鬆症、サルコペニア共に運動療法が有効です。ウォーキングやスクワット(椅子からの立ち上がり運動でも可)、そして開脚片足立ち運動は日常的に自分ででき転倒予防に有効です。

金ヶ崎町が進めている健康ポイント事業など日頃から運動を心がけ転倒を予防し骨折しにくい体を保ちましょう。介護予防教室事業等も行ってまいりますので、ご興味のある方は保健福祉センターに、ご相談下さい。骨粗鬆症の検査や薬物による治療は、金ヶ崎診療所でも行っておりますので心配な方は受診してください。



### 冬の季節 口腔乾燥に気をつけましょう

文責:金ヶ崎診療所 歯科長 高橋通則

寒くなり外も家の中も空気が乾燥してきます。汗をかくことも減り、自然と水分摂取も控えられ、軽い脱水状態になり口腔乾燥になりやすい季節です。それ以外にも服用している薬(降圧剤、抗ヒスタミン薬、抗うつ剤など)で口腔乾燥をきたすこともあります。また加齢、更年期障害、ストレス、鼻閉に伴う口呼吸、さまざまな原因が考えられます。

本来口腔粘膜は唾液で十分に濡れた状態が正常で、口腔乾燥は口腔内の衛生状態の悪化、歯周病、う蝕の進行、摂食の妨げなどの原因となります。部屋の適度な湿度、湿度管理、歯磨き、水分(カフェインを含まない)のこまめな摂取などに心がけてください。マスクの使用も有効です。

なかなか改善しない場合には、陰に糖尿病などの病気が潜んでいることもあり得ますので受診をお勧めします。

# 保健福祉センター

2022. 2. 17 №88

## だより

発行 金ヶ崎町保健福祉センター  
〒028-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根樋水 98 番地  
TEL:0197-44-4560 fax:0197-44-4337

### 2022年 本年も宜しくお願い致します。



#### 阿部 俊和 所長より新年のご挨拶

☆☆☆ 謹賀新年 ☆☆☆

今年も通常の日常診療、在宅医療、発熱外来、そして新型コロナウイルスワクチン接種など、職員が一丸となって邁進しますのでよろしくお願い致します。



当面の間、新型コロナウイルスワクチン接種の対応のため、  
午後の診療は、再診予約の方のみとしています。  
ご不便お掛け致しますが、ご理解の程宜しくお願い致します。

### 発熱外来について

当診療所では患者様に安心して受診して頂くために、一般外来とは別に「発熱外来」を開設しており、発熱、咳、倦怠感などの症状がある方は、感染防止の観点から車で来ていただき、屋外の仮設専用スペースで診療、検査をします。

発熱や風邪症状のある方で発熱外来の受診を希望される場合  
\* \* 基本的に午前中に電話連絡をお願いします。\* \*

・事前の電話連絡をお願いします。  
(かかりつけ医がある場合は『まずは、かかりつけ医に相談』をお願いします。)

・開設日 火曜日～木曜日 午後1時30分～午後3時  
完全予約制 人数制限をしております。  
予定人数を超えた場合は、翌日になることもありますのでご了承下さい。

・対応内容 問診、採血、PCR検査(必須)



・結果説明 採血結果は当日結果説明  
PCR検査結果は、翌日以降担当医師からご連絡します。

・受診後 PCR検査の結果が出るまでは、自宅待機となります。

国保金ヶ崎診療所

TEL:0197-44-2121

### 金ヶ崎診療所・歯科診療所 年末年始休診のお知らせ

金ヶ崎診療所及び歯科診療所は

12月29日(水)から1月3日(月)まで休診といたします。

ご不便をお掛け致しますが、ご了承下さい。



# 保健福祉センター

2022. 2. 17 №88

## だより

発行 金ヶ崎町保健福祉センター  
〒028-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根樋水 98 番地  
TEL:0197-44-4560 fax:0197-44-4337

### 2022年 本年も宜しくお願い致します。



#### 阿部 俊和 所長より新年のご挨拶

☆☆☆ 謹賀新年 ☆☆☆

今年も通常の日常診療、在宅医療、発熱外来、そして新型コロナウイルスワクチン接種など、職員が一丸となって邁進しますのでよろしくお願い致します。



当面の間、新型コロナウイルスワクチン接種の対応のため、  
午後の診療は、再診予約の方のみとしています。  
ご不便お掛け致しますが、ご理解の程宜しくお願い致します。

### 診療所の受付窓口がより便利になります。



金ヶ崎診療所及び歯科診療所での診療費の支払いに『クレジットカード、電子マネー』が使えます。

- ◆ 利用開始日 令和4年2月1日(火)
- ◆ 使用可能なサービス
- ◆ クレジットカード



※JCBカードは、イオンカードに付帯しているJCBカードのみ

#### ◆電子マネー



- ◆ 決済方法
- 決済方法は1回払いのみ。

金ヶ崎診療所の診察券が『磁気式診察券』になります。

- 発行開始日 令和4年2月1日(火)
- 新規患者様から新しい磁気式診察券をお渡しします。



- 紛失すると「再発行手数料として110円」がかかります。大切にご利用ください。

歯科診療所では、診察券に予約日を手書き対応しているため、磁気化せず、現状のまま紙診察券を継続します。

### 神経内科診療日 変更のお知らせ

金ヶ崎診療所「神経内科」の診療日が1月から下記のとおり変更となりました。  
●神経内科診療(診療日)  
変更後:毎週火曜日午後(変更前:毎週木曜日午後)  
診療は予約制です。初診の方は、事前に予約してください。

予約先 金ヶ崎診療所  
☎ 44-2121

# 環境づくり委員会

委員長 高橋 通訓

令和3年度の作品展示は、下記の日程で行いました。

月	幼稚園名	月	幼稚園名
7月	六原幼稚園	11月	六原幼稚園
8月	三ヶ尻幼稚園	12月	三ヶ尻幼稚園
9月	永岡幼稚園	1月	永岡幼稚園
10月	認定こども園南方幼稚園	2月	認定こども園南方幼稚園

毎年恒例の正月、七夕、ハロウィーン、クリスマスツリーなどの飾りつけを行いましたが、今年度はワクチン接種のため、草取りなどの毎年行っていた屋外の整備は行うことができませんでした。雪掻きは自主的に随時行いました、協力いただいた職員の皆様ありがとうございました。次年度もワクチン接種が続くとは思いますが、花壇の整備等行いたいと考えています。

構成委員： 委員長 高橋 通訓

委員 阿部 俊和      亀井 浩      鈴木 麻代子      新岡 蘭      四日市 春美  
     佐々木 美由紀      高橋 光緒      石母田 陽子      佐藤 大樹      小原 茉奈  
     植田 里美      千葉 聖也      菊池 望花

# 経営改善委員会

委員長 古田 一裕

経営改善委員会は顧客、財務、業務の質、業務効率、学習と成長の視点からそれぞれに評価指標、目標値、実行計画を立てそれを年度末に評価するBSCによる検討を行っています。

平成29年度に電子カルテの導入、医事システムの変更を行い、平成30年度は新診療所での業務となりました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため通常診療に大きな支障を生じました。令和3年度も前年度同様コロナ感染症対策、コロナワクチンの住民接種の対応のため診療所の診療体制の大幅な変更を継続しました。学会、研修は主にリモートの参加となりました。コロナ感染症が収束していないためコロナ感染症を前提とした経営改善の努力をしていく必要があると思われま

構成委員： 委員長：古田 一裕

委員：阿部 俊和	高橋 道訓	小野寺 利佳	亀井 浩	内田 真喜子
高橋 須磨	千田 瑞穂	佐々木 清光	相澤 啓	及川 恵美
佐藤 大樹				

## 令和3年度 金ヶ崎診療所バランススコアカード【診療部門】

視点	戦略課題(目標)	部門課題(目標)	評価指標,目標値		アクションプラン	実測値	達成率	
			評価指標	本年度目標値				
顧客の視点	専門医療の充実	消化器内科、外科、腎臓内科、泌尿器科、神経内科における専門性の高い医療の提供	上部消化管内視鏡検査数	420件	広報活動の充実、既往患者のf/u	428件	101.9%	
			下部消化管内視鏡検査数	100件	広報活動の充実、既往患者のf/u	92件	92.0%	
			膀胱鏡検査数	20件	尿管患者への積極的アプローチ	13件	65.0%	
			前立腺生検	3件	前立腺検診、広報	1件	33.3%	
			腹部超音波検査件数	100件	スクリーニングとしての定期検査	74件	74.00%	
	医療、保健、福祉が一体となった地域活動の展開	出前講座	出前の件数	2件	広報活動の充実、既往患者のf/u	2件	100.0%	
			糖尿病教室冊子配布	開催回数	6回	通院患者および広報紙での周知	6回	100%
			広報紙による疾病啓発	広報紙の定期発行	5回	広報委員会の定期開催	5回	100%
	患者満足度の向上	早朝診療の継続	早朝診療患者数	120名	広報紙の活用、出前での宣伝	210名	175.0%	
			禁煙外来の継続	禁煙外来患者数	5件	広報紙の活用、出前での宣伝	0件	0%
			訪問診療の拡充	訪問患者数	65例	通院不能患者への働きかけ	67名	103.1%
	地域医療機関との連携強化	診療応援	診療応援回数	週3.5件	手術応援、検査応援、当直の応援	3.5件	100.0%	
通院の利便による逆紹介			逆紹介回数	100件	病診連携強化	165件	165.00%	
財務の視点	患者数の増加	外来患者数の増加	内科外来患者延数	20,000人/年	広報活動および医院、施設との連携	19,180人	95.9%	
	単価アップ	内科単価アップ	外来単価	7,400円/人	必要な定期検査の実施	7,779円	105.1%	
	検査機器の活用	ABIの活用	検査件数	35件	運営会議での検査件数報告	12件	34.3%	
			DEXAの活用	検査件数	1000件	運営会議での検査件数報告	1,067件	106.7%
			UCGの活用	検査件数	40件	運営会議での検査件数報告	46件	115.0%
薬品、資材の差益	差益巾の大きい薬剤使用	使用品目	5件	薬事委員会での検討	2件	40.0%		
業務の質の視点	インフォームドコンセントの推進	検査、手術同意書100%	検査、手術同意書 実施率	100%	説明内容書類等の充実	100%	100%	
	医療安全対策	侵襲的検査時の薬剤確認	検査中、検査後の出血	0件	問診、薬剤の確認	0件	100%	
	感染防止対策の促進	感染防止研修会	研修会開催数	1回	院内勉強会での実施	0回	0%	
率効務業	圏域内病診連携	診療応援など	紹介患者件数	250件	紹介先への診療応援、研修会出席	238件	95.20%	
長学の習視と点成	職員の能力向上	各種学会への参加、発表	学会発表数	2回	学会発表のための取組み強化	0件	0%	
			参加数	6回	自己研鑽の奨励	4回	67%	
			論文作成	論文数	1編	論文作成のための取組み強化	0編	0%

# 令和3年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【外科部門】

視点	戦略課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画	実施結果（実施値）
		評価指標・目標値	本年度目標値		
顧客の視点	外科外来開始の周知	他院よりの紹介		実数の把握	
	広報紙への投稿	投稿回数	2		1
財務の視点	新しい処置の導入	コレクティオ	2		2
	診療報酬点数の確認				
	医療材料の見直し				
業務の質の視点	外傷処置の見直し	湿潤療法の施行数		可能な症例は全例	
	癌化学療法中患者の診療・管理	外来化学療法			
業務効率の視点	外来診療の効率化			他科との連携	
学習と成長の視点	新しい知見を学習	地域の研究会への出席	できるだけ頻回		
		学会へ出席	4回		4回
	新しい技術の習得				
	肛門科	肛門疾患診察実績（実人数）	44名		135名
		肛門鏡検査	22名		29名

## 令和3年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【歯科部門】

視点	戦略課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画		実行結果（%）
		評価指標・目標値	本年度目標値			
		①医療講演の実施	年 1 回	住民対象の医療講演, 実施	オレンジサロン 1 回	100%
		②訪問診療の充実	延べ 50 人以上	訪問看護ステーションとの連携、広報の活用	82人	164%
		③乳幼児健診人数	年 300 人	2歳半健診のフッ素塗布を行う	311人	104%
		④成人歯科検診75歳検診, 妊婦、ドッグ	年 50 人以上	成人歯科検診受診者を前年を上回ることを目指す	49人	98%
		⑤研修会等への参加	年間 1 回以上	国保集会、研究会、勉強会等への出席	0回	0%
		⑥歯科学会への出席	年間 1 回以上	歯周病学会等、専門学会への出席	0回	0%
業務の質の視点	安全・安心な診療の提供	① ヒヤリハット報告件数	12件	医療事故マニュアルチェックの実施	0件	0%
		②機械室の定期点検実施率	年 2 回	医療機器の点検およびフィルター等の交換	1回	50%
		③患者ごとのインスツルメント滅菌	各患者ごと	タービン、エンジン周辺器具の治療前後の消毒等	全件滅菌消毒	100%
		④待合室の椅子、ドアノブ等の清掃	毎日適宜	アルコール噴霧、拭き取り	毎日励行	100%
		⑤感染対策講習会の開催*	年 1 回	感染対策関係の講習会出席もしくは独自開催	0回	0%
	効率的業務の推進	①事前連絡のない患者を減らす	1 日 1 人	その都度予約制について理解してもらう	毎日 1 人以上 2 人以下	70%
		②材料等の簡素化	年 3 回以上	停滞リストのチェック	年数回実施	100%以上
財務の視点	収入の確保	①診療報酬改定に関する講習会	年 1 回以上	国保連講習会等への事務部門参加	0回 (コロナで中止)	0%
	材料費の抑制	②材料リストの見直し	適宜実施	発注時同等製品との価格比較	適宜実施	100%

## 令和3年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【看護部門】

戦略課題（目標）	部門課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画	実測値	達成率
		評価指標	本年度目標値			
地域啓発活動の推進	・医療関連のイベント開催	開催回数	3回	「看護の日」「救急の日」「世界糖尿病デー」他イベント	2回	66%
	・医療講演の実施	開催回数	1回	・出前講座（金中ワークショップ含）	0回	0%
患者満足度の向上	・糖尿病教室	開催回数	6回	・糖尿病通信の発行（各部署）	6回	100%
	・禁煙外来	卒煙者率	成功率 50%以上	・禁煙成功のための積極的アプローチ	未受診	0%
収入の確保	・医事課との勉強会	開催回数	3回	・請求漏れ防止のため診療報酬についての勉強会実施	実施	100%
材料費の抑制		定数確認	適宜	・定数化の実施により在庫抑制（外来全般）	適宜	実施
安全・安心な看護の提供	・ヒヤリ・ハット提出件数	件数	1件/1人/月	・毎月医療事故マニュアルチェックの実施 ・事例原因、対策の分析、フィードバックの徹底	24件	29%
	・医療機器の定期点検実施率	実施率	100%	・医療機器毎に点検日を決め実施	実施	100%
専門性の高い看護の提供	・看護手順・基準の見直し実施	実施部門数	適宜	・随時既存の手順・基準の見直し（検査、外来） （内視鏡、外科、整形、婦人科、眼科、検査全般）	実施	100%
効率的業務の推進	・他部門との情報交換	開催回数	適宜	・連携をスムーズに行うための話し合い実施	実施	100%
	・年次休暇の消化	消化日数	14日	・職員のリフレッシュ効果による業務の向上	13.4日	95%
職員の能力向上	・所内勉強会参加	開催月	開催月	・開催月に参加	2回	0%
	・研修会等への自主参加	開催月	1人1回以上	・いわて糖尿病療養指導士等	0回	0%

## 令和3年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【訪問看護ステーション】

視点	戦略課題（目標）	部門課題（目標）	評価指標・目標値		アクションプラン	実施値	達成率
			評価指標	本年度目標値			
顧客の視点	サービス（ケア）の標準化	職員への周知		3回	事業所独自のマニュアル等での周知	3回	100%
	関係機関との連携強化	研修会の周知		1回	介護サービス事業者対象の研修会参加	0回	0%
財務の視点	歳入の安定化	利用者の拡大	利用者延数	2,100人	居宅介護支援事業所、病院や診療所医師との連携	2,161人	102%
		医療介護報酬の確認		12回	レセプトダブルチェック（介護報酬医療報酬勉強会）	12回	100%
		訪問看護のアピール	広報紙掲載	2回	広報紙を活用し宣伝	2回	100%
業務の質の視点	安全・安心な看護の提供	医療安全研修会		1回		0回	0%
	適切な訪問看護の提供	医師との連携		3回	医師、看護師合同ミーティング	5回	166%
		課内事例検討会	開催数	12回	月1回事例検討会開催	5回	41%
業務効率の視点	多職種との協働・連携	居宅介護支援事業所との連携	ケース担当者会議への出席	随時	関係機関との連携を図り、利用者の情報を共有する	3回	
		医療機関との連携	退院時カンファレンスへの出席	随時	入院中の情報を得る	5回	
		近隣訪問看護ステーションとの連携	交流会参加	2回	他訪問看護ステーションの情報を得る	0回	0%
	情報共有による業務効率向上	ICTの活用		随時	タブレットの活用により画像情報の共有	随時	
学習と成長の視点	職員の能力の向上	各種勉強会・研修会への参加	参加数	1人5回以上	個人毎の研修計画の作成	3回	60%
		知識や技術、最新情報の取得		3回以上	研修会参加後の情報伝達会	1回	33%



# 令和3年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【薬局部門】

視点	戦略課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画	実施値	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	医療講演の実施	医療講演実施件数	2回以上	出前講座・(糖尿病教室)・薬物乱用防止教室等の実施	2回	100%
	個別ケア会議出席	参加し、薬情を業務に役立ててもらう	12回	患者ごとの薬情、注意点を担当事業所に伝達・指導	12回	100%
	丁寧な薬品情報提供	満足度80%以上	5件以上	養護教諭・内外医療スタッフからの質問に迅速・丁寧に対応する	5回以上	100%
財務の視点	後発医薬品の使用促進	後発医薬品の使用促進	18種以上	見積にGEを加え、GE使用を推進する	15品目	83%
	薬品の適正管理	月末の实在庫と理論在庫の検証	毎月行う	月末在庫調査での实在庫と薬剤在庫管理ソフトの理論在庫(レセコン連動)を検証し、在庫管理をおこなう	毎月実施	100%
		廃棄薬品の減少	5万円/年以下		使用期限一覧表を提出。薬品購入時には使用期限に注意し、随時期限の迫った品目の使用をIP・紙等で喚起する。	廃棄39,509.1円(税込43,460円)
業務の質の視点	医療安全対策の推進	重大な副作用の情報提供	DSU・・・毎月 その他・・・随時	情報入手に努め、対象部門に回覧する	3か月に1回位の回覧 になってしまった	25%
	ワクチン接種の効率化	接種予定表による管理	15人分	個々の接種予定表を作成し、安全・効率的な接種を推進	35人分	100%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との情報交換	3回以上	連携がスムーズに行えるよう、話し合う	3回以上	100%
学習と成長の視点	幅広い知識の習得	研修会への参加	2回以上	町・薬剤師会・製薬会社等実施の研修会に参加	4回	100%
		専門書物から知識を得る	4冊以上	じほう出版等の専門書に親しむ	4冊	100%
		電子媒体から知識を得る	2項目/月以上	インターネット、CDR、DVD等から習得	2回以上	100%

# 令和3年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【X線部門】

視点	戦略課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画	実測値	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	インフォームドコンセントの推進	撮影に関するクレーム件数	0件	検査内容の説明	0	100%
	接遇の向上	患者対応に関するクレーム件数	0件	入退室時のアナウンス	0	100%
	収益の確保	放射線室の総撮影件数	3,600件	各種撮影機器の件数の増加を目指す	3,774件	105%
財務の視点	収入の確保	医事係との情報交換	年2回以上	診療報酬算定等についてのミーティング	10回	500%
	コスト削減	放射線機器の日常点検	毎日	6機器について月別シートにより毎日点検	毎日	100%
		医療機器の保守点検	年1回以上	6機器について点検計画書を作成し実施	1回	100%
業務の質の視点	安全・安心な検査の実施	医療事故件数	適宜	感染対策・医療安全マニュアルのチェック	適宜見直し	100%
			0件	患者の転倒、転落、受傷事故防止	0件	100%
		撮影時		CT造影剤問診表確認	毎回	100%
		医師への画像情報の報告	適宜	癌・急性期疾患・特異所見等について随時報告	50件	100%
		放射線被ばく相談	適宜		2件	100%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との情報交換	年2回以上	連携をスムーズに行うためのミーティング	10回	500%
	撮影オーダーミス減らす	カルテメーカーとの打ち合わせ	年1回以上	インシデントミスを減らすためのシステム構築	2回	200%
学習と成長の視点	幅広い知識の習得と能力向上	各種勉強会・研修会への参加	年6回以上	診療所内外勉強会・研修会への積極的参加	8回	133%
	放射線安全管理委員会 職員研修	職員への放射線取扱研修	年1回以上	診療所内での職員研修の実施	実施	100%
				岩手県放射線技師学術大会にて演者として発表	1回	100%

## 令和3年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【検査部門】

視点	戦略課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画	実行結果（実施値）	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	地域啓発活動の推進	出前講座・教室の実施	1回以上	糖尿病教室等	1回	100%
	患者満足度の向上	接遇・技術研修会等参加回数	1回以上	検査内容の事前説明を徹底	0回	0%
財務の視点	材料費の抑制	材料リストの見直し	2回以上	同等製品との価格比較	4回	200%
	試薬・診療材料の適正管理（在庫管理の徹底）	有効期間の確認	月2回以上	在庫管理の徹底	毎月実施	100%
	収入の確保	医事との連携強化	1回以上	診療報酬についての意見交換の実施	3回	300%
業務の質の視点	臨床検査精度管理の充実と向上	精度に関する研修会参加回数	2回以上	研修会の参加	1回	50%
	他施設とのデータ互換性の向上	外部精度管理調査の参加回数	3回以上	医師会等の精度管理調査の参加	5回	167%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との連携強化	3回以上	関連部門との意見交換の実施	2回	67%
長学 の視 習と 成 点	技能・能力の向上	所外の研修会・学会の参加回数	4回以上	技術と知識の向上	2回	50%

# 業務改善委員会

委員長 加藤 喜信

令和3年度は新型コロナに対する発熱外来、ワクチン接種等でなかなか時間がとれず、残念ながら開催できませんでした。

令和4年度はワクチン接種等も落ち着いてきたので、開催したいと考えております。

構成委員：委員長 加藤 喜信

委員	阿部 俊和	古田 一裕	高橋 通訓	亀井 浩	小野寺 利佳
	内田 真喜子	高橋 須磨	千田 瑞穂	伊藤 舞	佐々木 清光
	相澤 啓	及川 恵美	佐藤 大樹	小原 莉世	

# 薬事委員会

薬剤師 小野寺 甲仁

薬事委員会は、医薬品の購入及び保管管理が適正かつ有効に行われるように協議する場として設置され、通常年2回開催しています。

昨年度に引き続き本年度も、新型コロナウイルス感染症対策会議、予防接種事業等で日程の確保が難しかったため、2回とも持ち回り決裁による開催となりました。

## (1) 委員会構成

委員長 所長 阿部 俊和

委員 副町長 鈴木 浩之 副所長 古田 一裕 内科長 加藤 喜信

歯科長 高橋 通訓 事務長 相澤 啓 医療係長 及川 恵美

薬剤師 内田真喜子 看護師長 小野寺利佳

## (2) 会議内容

### ①報告事項 R2年度薬品購入実績について

購入総額は前年とほぼ同額。差益率は向上。泌尿器関連薬が減り、骨粗鬆症治療薬・ワクチンが増加。

### R3年度に使用期限の終了する医薬品について

### R2年度ワクチン接種状況について

インフルエンザ、日本脳炎、高齢者肺炎球菌、麻しん風しん（風しん5期含）、子宮頸がんが増加。

### ②協議事項 R4年度見積依頼医薬品について

沈降破傷風トキソイド「タダ」他7品変更

R4・5年度医薬品納入業者の決定について（2年に1回実施）

R3年度相見積もり医薬品の採用決定について

リュープロレリン酢酸塩キット他12品目

R2年度使用期限終了薬品の廃棄について

使用期限終了19,108円+手技不良等25,772円=44,880円。前年度は9,022円。手技不良等による廃棄が多いので慎重に行うよう申し合わせ。

# 糖尿病教室

主任看護師 小野寺 利佳

令和3年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染症で感染を避けるため糖尿病教室を行わず7月より関連部署から糖尿病通信を発行し総合受付で糖尿病患者様、その御家族、興味のある方に配布を行いました。

今後も新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながらの対応となりますが、糖尿病治療の目的の合併症発症の予防と進展を抑制し健康な人と変わらない社会生活を可能にすることは変わりないため、患者様と医療側との密接な連携による療養指導の必要性を感じながら、地道ではありますが糖尿病の基本を知っていただくためにも今後も現状にあった方法で継続していきたいと考えております。

回	発行月	テーマ	担当
第1回	7月	糖尿病の運動療法について	阿部所長
第2回	8月	食事のタイミング	管理栄養士
第3回	9月	歯周病について	歯科長
第4回	10月	糖尿病とフットケア	看護師
第5回	11月	糖尿病薬について	薬剤師
第6回	12月	検査について	検査技師

# 所内勉強会

薬剤師 小野寺 甲仁

個々のスキルアップを図ることを目的に、毎月第4月曜日に勉強会を開催しています。

製薬会社のMRさんに講師をお願いし、15～30分程度の時間で、病態・最近の治療薬についてお話しをいただいています。

令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防及び予防接種業務のため、定期開催は行いませんでしたが、医師・看護師・薬剤師で骨粗鬆症治療薬のウェブ講演の視聴を2回実施しました。

次年度も新型コロナウイルス感染症の状況をみながらの開催とはなりますが、製薬会社さん等にご協力をいただき、勉強会を開催したいと思います。

# 出前講座

医療係

町民を対象として公衆衛生、医療、健康等の保健医療全般の知識や意識を高めることを目的に、職員が訪問して講演を行う事業を平成 21 年 6 月から診療所にて開始しましたが、平成 22 年 6 月から出前講座事業は金ケ崎町役場の事業となりました。

診療所関係の講座メニューは 6 職種 25 演題で、令和 3 年度の実施状況は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、講演回数 4 回、受講者数 81 名でした。

## 1. 令和 3 年度出前講座メニュー（診療所関係）

番号	講座名	担当	時間
1	糖尿病について	内科医師	30 分
2	健康で長生きするためには	内科医師	30～60 分
3	インフルエンザについて	内科医師	30 分
4	健康診断について	内科医師	30 分
5	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)	内科医師	30 分
6	慢性腎臓病について	泌尿器科医師	30 分
7	前立腺肥大症、前立腺癌について	泌尿器科医師	30 分
8	透析療法について	泌尿器科医師	30 分
9	泌尿性生殖器癌について	泌尿器科医師	30 分
10	尿失禁、過活動膀胱について	泌尿器科医師	30 分
11	肛門疾患(排便時出血)について	外科医師	30 分
12	診療所医師による健康講座	医師	30 分
13	歯周病と全身疾患について	歯科医師	30 分
14	正しい歯の磨き方	歯科医師	30 分
15	歯周病と糖尿病	歯科医師	30 分
16	マウスガード(スポーツ歯学)	歯科医師	30 分
17	口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防	歯科医師	30 分



18	お薬の飲み方・使い方	薬剤師	30分
19	X線写真でわかるさまざまな病気	診療放射線技師	30分
20	検査の結果をみてみよう!!(糖尿病)	臨床検査技師	30分
21	応急処置について	看護師	30~60分
22	尿失禁と骨盤底筋体操について	看護師	30分
23	インフルエンザの予防方法について	看護師	30分
24	訪問看護について	看護師	30分
25	血圧の正しい測定法を学びましょう	看護師	30分

## 2. 令和3年度出前講座実績(診療所関係)

	実施日	講座名	講師	受講団体	参加人数
1	R3年12月3日	知って得する、お口の健康	高橋歯科長	オレンジサロン 檜木	25名
2	12月17日	健康で長生きするために	阿部所長	かみしも結いの会	23名
3	R4年1月27日	薬物乱用防止教室	内田薬剤師	第一小学校	16名
4	3月16日	薬物乱用防止教室	内田薬剤師	三ヶ尻小学校	17名
計					81名

# CT読影会（画像カンファレンス）

診療放射線技師 佐々木 清光

## （１）CT読影会の開催概要

昨年度から継続して、CT読影会（画像カンファレンス）を行いました。

月に隔週の木曜日（第2週、第4週）16時30分から読影会を行っております。今年度は新型コロナウイルスワクチン接種もあり時間の確保が難しい日もありましたが、当院で撮影した症例に関しては、全症例漏れることなく症例検討を行えました。

内容は、当診療所で撮影したCT画像について、遠隔画像診断（鈴木画像診断診断研究所）の読影結果も踏まえて、主治医が行った診療行為に対してCT画像の読影結果及び採血等の臨床検査結果を照らし合わせ、他の医師も交えての診療行為の検討を行っております。

画像読影の未確認ミスによる病態悪化及び死亡される例がメディアでも取り上げられておりますが、当診療所でも、このような事例が起きないようにする目的と、医師・技師の知識向上の為、CT読影会を行っております。

臨床検査室の亀井主任にも賛同頂き、常勤医、亀井主任、放射線技師にて第6診察室にて行っております。今年度途中からは、稀な症例や見逃しやすい症例をピックアップし、先生方の各電子カルテ端末でも症例を振り返られるように、共有化を図りました。

今後の展望としては、他の職種の方々にも参加を広げていければと思います。

## （２）CT読影会の実績統計

	開催日	読影件数		開催日	読影件数
第1回	令和3年4月1日	10件	第12回	令和3年10月25日	9件
第2回	令和3年4月15日	16件	第13回	令和3年11月11日	16件
第3回	令和3年4月30日	18件	第14回	令和3年11月26日	20件
第4回	令和3年5月20日	18件	第15回	令和3年12月24日	34件
第5回	令和3年6月3日	14件	第16回	令和4年1月13日	13件
第6回	令和3年7月8日	23件	第17回	令和4年1月27日	16件
第7回	令和3年7月29日	17件	第18回	令和4年2月10日	13件
第8回	令和3年8月19日	36件	第19回	令和4年2月24日	15件
第9回	令和3年9月16日	52件	第20回	令和4年3月10日	17件
第10回	令和3年9月30日	17件	第21回	令和4年3月24日	17件
第11回	令和3年10月14日	30件			

# 学童、園児の健康診断

担当医師 古田 一裕

幼稚園の健康診断および医師会からの依頼で金ヶ崎第一小学校と西小学校の校医を引き受け健診に従事しています。校医に関しては第一小学校を阿部所長、西小学校を古田が担当しました。

幼稚園の健診は阿部所長、加藤医師、古田との3人で担当しています。金ヶ崎診療所は小児、学童の健康診維持に貢献し、子どもを持つ若い世代が安全で安心して子育てをし、生活ができる環境の維持に貢献しています。令和2年度よりゆうゆう保育園が加わっています。

## ◇幼稚園

- 1) 三ヶ尻幼稚園、南方幼稚園 4才児：古田副所長
- 2) 六原幼稚園、南方幼稚園 5才児：加藤内科長
- 3) 永岡幼稚園、南方幼稚園 3才児：阿部所長
- 4) ゆうゆう保育園 春、秋 加藤内科長、古田副所長

## ◇小学校

- 1) 第一小学校 阿部所長
- 2) 西小学校 古田副所長

# 診療応援状況

## ◆阿部俊和

毎週火曜日の午後総合水沢病院への診療応援

県立江刺病院当直（R 4年5月まで）

随時奥州市立夜間救急

## ◆古田一裕

毎週火曜日の午前中県立千厩病院総合内科外来診療

随時奥州市立夜間救急

## ◆加藤善信

毎週水曜日午後県立千厩病院内視鏡検査、内視鏡手術

随時まごころ病院当直

随時奥州市立夜間救急

（阿部医師、加藤医師の江刺病院当直は終了、加藤医師の胆沢病院出張はコロナ禍で一時中断中）

# 出張予防接種

担当医師 阿部 俊和

国保金ヶ崎診療所では産業医訪問先企業の健康管理目的、また金ヶ崎町にある企業に対するサービス目的で、出張インフルエンザワクチン接種を行っています。令和3年度は新型コロナ禍にあり、新型コロナウイルスに対するワクチンの個別接種、集団接種を優先させざるを得ない状況であり、インフルエンザワクチン接種は限定させていただき、昨年度は12日間、総数715名でありましたが、今年度は3日間、167名でありました。

原則、医師1名、看護師1名、事務2名の編成で訪問しワクチン接種を行いました。

また、所内において役場職員162名、企業1社30名の集団接種も行いました。

当診療所業務に支障がでない範囲で出張予防接種事業を継続したいと思います。

## ◇出張ワクチン接種

北上ハイテクペーパー：1日間、75名

関東商事：1日間、50名

内田シューズ：1日間、42名

## 所内での集団接種

役場職員：3日間162名

グリーンテック：7日間（土曜診療）、30名

# 産業医活動

日本医師会認定産業医 阿部 俊和

産業医活動の目的は、金ケ崎地域の産業振興の一助としての産業医派遣であります。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症に対する個別並びに集団接種対応、発熱外来対応のため午後の時間に制約が生じ一時的に産業医活動を縮小して行いました。

業務は例年通り日医認定産業医の資格を有する3人の医師体制で行い、金ケ崎町役場の産業医の他に北上ハイテクペーパー（株）、アイシン東北（株）と共同物流サービス（株）、グリーンテックの4事業所において産業医活動を行いました。

役場における産業医活動は診療所での健康診断の一部を引き受ける事、更に衛生委員会に出席し、産業医としてコメントを加える事が主な業務でありました。しかしながら、外来診療の合間に会議出席をせざるを得ない状況であり、衛生委員会への出席率が悪く、次年度より出席する環境を整えていきたいと思っております。

北上ハイテクペーパーには原則月1回月曜日の午後に訪問しました。活動内容は職員検診後の要指導対象者に対する面談、職場巡視、衛生委員会への出席、不調を訴える職員の診察、残業の多い職員との面談などが主なものでありました。衛生委員会では医療のトピックスの情報供与と新型コロナウイルスなどの感染症の情報提供も行いました。その他、令和3年度もインフルエンザの予防接種を会社訪問にて行いました。

アイシン東北、共同物流においても北上ハイテクペーパーと同様に月1回午後に職場巡視、検診後の要指導者に対する面談、衛生委員会への出席等、産業医として必要な活動を行いました。

グリーンテックにおいては職場巡視する環境にはなく、衛生委員会出席が主な業務でありました。今後も継続して行い、金ケ崎町の産業振興の一端を担いたいと思っております。

# 臨床研修医受け入れ

事務長補佐兼医療係長 佐藤 美幸

岩手県立胆沢病院臨床研修医(医師免許取得後2年目までの医師)の臨床研修を受け入れる教育施設として、臨床研修医1名を受け入れました。

臨床研修は、国の定めた到達目標に準拠して、指導医のもとでの診療行為を通して実施するもので、医療に携わる若い人材を育成するために行われます。

## 【G I O】(一般目標)

管理型臨床研修病院である県立胆沢病院における一般目標に準じ、綿密な連携体制のもとに地域医療に関し、特に次の点を重視し研修を実施する。

## 【S B O s】(行動目標)

- 1 専門分野にとらわれない総合的な診療を行う能力・技術の習得
- 2 患者及び家族とのコミュニケーションを重視した、精神的な面を含めて幅広い人間性の習得
- 3 地域住民と接する機会を通じての、社会性・公共性の認識の習得
- 4 プライマリ・ケア実践のための対応能力の習得

1 臨床研修医 清水 翔太 先生

2 研修期間 令和3年7月5日(月)～8月1日(日)

## 3 研修医感想

### 金ケ崎町での初期研修

岩手県立胆沢病院研修医 清水翔太

まず初めに、この度は金ケ崎診療所での地域研修を受け入れていただき、誠にありがとうございました。4週間という短い期間でとても充実した研修となったのは、阿部所長をはじめとしたスタッフの皆様、そして高橋町長を筆頭とした金ケ崎町の皆様が暖かく迎え入れて下さったからだと強く実感しております。

今回の研修で特に印象に残ったことは、診療所の地域に根ざした医療です。訪問診療・訪問看護はもちろんのこと、外来治療も診療科を問わず金ケ崎診療所であるべく完結させ、また通院日程についても稲刈りの時期を避けるようにしたり、バスの時刻を考慮したうえで予約を決めたりするなど、地域住民第一で動いていることが分かりました。胆沢病院では急性期の患者

さんや入院加療を要する患者さんも多く、「治療が第一で患者さんの生活は二の次」と考えてしまっていた自分がいたため、はっとさせられる思いでした。

思い返してみると、私は医師を志した高校生時代、地域医療に携わりたいと考えていました。しかし大学生時代や初期研修期間を経て、自分はどこの専門を目指そうか、選択した専門分野を深めていくにはどのような進路が良いかという考えが強まり、自分は本当に地域医療に携わりたかったのか、そもそも地域医療とはなんなのだろうかと思うようになりました。そのような心境の中、今回の研修を経て「自分が携わりたかったのは金ヶ崎診療所のように地域住民の皆様方の日常生活の中にある医療だったなあ」と思い出すことができました。

私は3年日以降、消化器内科の専門医を目指し、研修を続けていく予定です。専門医を取得した後の人事は未定ですが、いずれは金ヶ崎診療所のような地域に根ざした場で自身がこれまで身に付けてきた知識・技術を還元していけるよう努力していきます。この度は本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。





# 地域医療実習受入

事務長補佐兼医療係長 佐藤 美幸

岩手医科大学医学部の地域医療実習受入機関として、4名の学生を実習生として受け入れました。

## 1 実習生氏名及び実習期間

< 1クール >

池谷 太郎さん 令和3年 9月27日～10月 1日

新井 浩史さん 令和3年 10月11日～10月15日

< 2クール >

園部 和樹さん 令和3年 10月25日～10月29日

智田 茜 さん 令和3年 11月 8日～11月12日

## 2 実習生感想

地域医療実習（金ヶ崎診療所）を終えて

岩手医科大学 医学部第5学年 池谷 太郎

今回地域医療実習として、金ヶ崎診療所で一週間実習をさせていただきました。普段とは異なる環境での実習は日々、新しい発見、体験があり地域に密着した医療について理解を深めることができました。診療所では、外来や訪問診療などを通じて、疾患だけに限らず、生活背景や患者さんが抱えている他の問題点などを考慮し、患者さんに寄り添った最適な医療を提供することで、地域全体が支えられているのだと感じました。また、今回の実習では診療所における保健福祉センターの役割を学ぶ機会があり、地域の特性に合わせた医療、保健、福祉が実践されていることを学び、患者さんにとってより最適な医療を提供する為には、医療者以外の職種について役割を理解し、連携していくことが重要であると感じました。今回の実習では、診療所の先生方、看護師の方々、放射線技師、臨床検査技師、その他職員の方々に温かく丁寧にご指導頂き、普段学ぶことの出来ない多くの経験をする事が出来ました。心より感謝申し上げます。この経験を忘れる事なく、これからも良き医療者を目標として、今後とも精進して参ります。

### 地域医療実習

岩手医科大学 医学部第5学年 新井 浩史

此度は5日間と短い期間でしたが、学びの多い日々でした。

診療所の外来見学では、自分の体の状態をうまく言語化できていない患者等が見られ、そこから情報を齟齬のないように聴く難しさを感じました。また、訪問診療の見学では、現状の悩みを聞いて答える等で、QOLを高めるCareも、より良い人生を送るために重要であると再認識し、その難しさも感じました。

金ヶ崎診療所の方々はとてもアットホームで、毎日が楽しかったです。ありがとうございました。

### 地域医療実習感想

岩手医科大学 医学部第5学年 園部 和樹

金ヶ崎診療所での一週間は非常に密度の濃いものとなった。最も驚いたことは、歯科を含む9つの診療科を有しており、大変充実した診療所ということである。患者に寄り添い、最善の医療を提供しようとする姿勢からは、得るものが多かった。訪問診療は地域医療の真髄を学ぶとても貴重な機会となった。

医師、看護師、関係スタッフの皆様は人間味がありとても優しく、心地良い診療所だと感じた。本当にありがとうございました。

### 地域医療実習の感想

岩手医科大学 医学部第5学年 智 田 茜

金ヶ崎診療所では、普段実習を行っている大学病院とは扱う疾患や患者さんの年齢層も異なり、診療科にしばられずに幅広く診ることの重要性を感じました。また、一人の患者さんと長く関わりを持てることは診療所ならではの良さであり、その分一人一人に寄り添うことができるのだなと感じました。私も将来、先生方のように患者さんの訴えを丁寧に傾聴できる医師になりたいと思います。一週間、ありがとうございました。

池谷太郎さん(令和3年9月27日~10月1日)



新井浩史さん(令和3年10月11日~10月15日)



園部和樹さん(令和3年10月25日~10月29日)



智田 茜さん(令和3年11月8日~11月12日)

